

新	旧
<p>(表紙)</p> <p style="text-align: center;"><b>伊賀市歴史的風致維持向上計画</b></p> <hr/> <p style="text-align: center;">平成29年 3月</p>	<p>(表紙)</p> <p style="text-align: center;"><b>伊賀市歴史的風致維持向上計画</b></p> <hr/> <p style="text-align: center;">平成28年 3月</p>

■新旧対照表

新	旧
(目次)	(目次)
<p>第5章 文化財の保存・活用に関する事項</p> <p>1. 文化財の保存・活用の現状と今後の方針及び具体的な計画.....172</p> <p>2. 文化財の修理（整備含む）に関する方針及び具体的な計画.....173</p> <p>3. 文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針及び具体的な計画.....173</p> <p>4. 文化財の周辺環境の保全に関する方針及び具体的な計画.....174</p> <p>5. 文化財の防災に関する方針及び具体的な計画.....175</p> <p>6. 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する方針及び具体的な計画.....176</p> <p>7. 埋蔵文化財の取り扱いの現状と今後の方針及び具体的な計画.....177</p> <p>8. 文化財の保存・活用に係る教育委員会の体制の現状と今後の方針.....177</p> <p>9. 文化財の保存・活用に関わっている住民・NPO等各種団体の状況及び今後の体制の方針と具体的な計画.....178</p> <p>第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項</p> <p>1. 基本的な考え方.....180</p> <p>2. 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業.....182</p> <p>第7章 歴史的風致形成建造物の指定</p> <p>1. 歴史的風致形成建造物の指定方針.....200</p> <p>2. 歴史的風致形成建造物の指定基準.....200</p> <p>3. 歴史的風致形成建造物の指定の対象.....200</p> <p>4. 歴史的風致形成建造物の管理の指針.....201</p> <p>5. 指定された歴史的風致形成建造物.....202</p> <p>6. 歴史的風致形成建造物の指定候補.....204</p>	<p>第5章 文化財の保存・活用に関する事項</p> <p>1. 文化財の保存・活用の現状と今後の方針及び具体的な計画.....172</p> <p>2. 文化財の修理（整備含む）に関する方針及び具体的な計画.....173</p> <p>3. 文化財の保存・活用を行うための施設に関する方針及び具体的な計画.....173</p> <p>4. 文化財の周辺環境の保全に関する方針及び具体的な計画.....174</p> <p>5. 文化財の防災に関する方針及び具体的な計画.....175</p> <p>6. 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する方針及び具体的な計画.....176</p> <p>7. 埋蔵文化財の取り扱いの現状と今後の方針及び具体的な計画.....177</p> <p>8. 文化財の保存・活用に係る教育委員会の体制の現状と今後の方針.....177</p> <p>9. 文化財の保存・活用に関わっている住民・NPO等各種団体の状況及び今後の体制の方針と具体的な計画.....178</p> <p>第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項</p> <p>1. 基本的な考え方.....180</p> <p>2. 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業.....182</p> <p>第7章 歴史的風致形成建造物の指定</p> <p>1. 歴史的風致形成建造物の指定方針.....200</p> <p>2. 歴史的風致形成建造物の指定基準.....200</p> <p>3. 歴史的風致形成建造物の指定の対象.....200</p> <p>4. 歴史的風致形成建造物の管理の指針.....201</p> <p>5. 歴史的風致形成建造物の指定候補.....202</p>

■新旧対照表

新	旧																																																																																																			
<p>(P4)</p> <p><b>(1) 伊賀市歴史的風致維持向上協議会</b></p> <p>伊賀市歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議ならびに計画の円滑な実施に係る連絡調整を行い、歴史的風致の維持又は向上に資する取り組みや、計画の推進状況の報告・評価に関すること等を所掌するため、歴史まちづくり法第11条に基づく「伊賀市歴史的風致維持向上協議会」を平成26年(2014)11月1日に設置した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>役職</th> <th>名前</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会長</td> <td>菅原 洋一</td> <td>三重大学大学院工学研究科建築学専攻 教授</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>浅野 聡</td> <td>三重大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>八尾 光祐</td> <td>上野西部地区住民自治協議会 会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>吉岡 輝一</td> <td>阿保地区住民自治協議会 会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>風隼 宗昭</td> <td>鳥ヶ原地区まちづくり協議会 副会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>滝井 利彰</td> <td>伊賀市文化財保護審議会 委員</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>辻 善典</td> <td>三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課 課長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>栢屋 武</td> <td>三重県国土整備部都市政策課 課長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>児玉 泰清</td> <td>伊賀市教育委員会事務局 教育次長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>清水 仁敏</td> <td>伊賀市建設部 部長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>尾登 誠</td> <td>伊賀市産業振興部長</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー</td> <td>菅原 賢</td> <td>国土交通省中部地方整備局 建政部 都市調整官</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>(2) 伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議</b></p> <p>本計画の策定に向けて、必要な事項を検討し、計画の策定及び計画による実施事業を一体的かつ円滑に推進することを目的に、平成26年9月1日に「伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議」を設置し、庁内の連絡調整、実施事業の調整、計画の進行管理、計画の変更など本計画及び計画による事業の推進に必要な調整を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部</th> <th>課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務部</td> <td>総務課</td> </tr> <tr> <td>企画振興部</td> <td>総合政策課 文化交流課</td> </tr> <tr> <td>財務部</td> <td>財政課</td> </tr> <tr> <td>産業振興部</td> <td>農林振興課 農村整備課 商工労働課 観光戦略課 中心市街地推進課</td> </tr> <tr> <td>建設部</td> <td>公共基盤推進課 建設1課</td> </tr> </tbody> </table>	役職	名前	所属	会長	菅原 洋一	三重大学大学院工学研究科建築学専攻 教授	副会長	浅野 聡	三重大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授	委員	八尾 光祐	上野西部地区住民自治協議会 会長	委員	吉岡 輝一	阿保地区住民自治協議会 会長	委員	風隼 宗昭	鳥ヶ原地区まちづくり協議会 副会長	委員	滝井 利彰	伊賀市文化財保護審議会 委員	委員	辻 善典	三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課 課長	委員	栢屋 武	三重県国土整備部都市政策課 課長	委員	児玉 泰清	伊賀市教育委員会事務局 教育次長	委員	清水 仁敏	伊賀市建設部 部長	委員	尾登 誠	伊賀市産業振興部長	アドバイザー	菅原 賢	国土交通省中部地方整備局 建政部 都市調整官	部	課	総務部	総務課	企画振興部	総合政策課 文化交流課	財務部	財政課	産業振興部	農林振興課 農村整備課 商工労働課 観光戦略課 中心市街地推進課	建設部	公共基盤推進課 建設1課	<p>(P4)</p> <p><b>(1) 伊賀市歴史的風致維持向上協議会</b></p> <p>伊賀市歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議ならびに計画の円滑な実施に係る連絡調整を行い、歴史的風致の維持又は向上に資する取り組みや、計画の推進状況の報告・評価に関すること等を所掌するため、歴史まちづくり法第11条に基づく「伊賀市歴史的風致維持向上協議会」を平成26年(2014)11月1日に設置した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>役職</th> <th>名前</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会長</td> <td>菅原 洋一</td> <td>三重大学大学院工学研究科建築学専攻 教授</td> </tr> <tr> <td>副会長</td> <td>浅野 聡</td> <td>三重大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>八尾 光祐</td> <td>上野西部地区住民自治協議会 会長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>滝井 利彰</td> <td>伊賀市文化財保護審議会 委員</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>北出 桶夫</td> <td>伊賀市文化財保護審議会 委員</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>辻 善典</td> <td>三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課 課長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>栢屋 武</td> <td>三重県国土整備部都市政策課 課長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>伊室 春利</td> <td>伊賀市教育委員会事務局 教育次長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>北山 太加視</td> <td>伊賀市建設部 部長</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>尾登 誠</td> <td>伊賀市産業振興部長</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー</td> <td>藤井 利幸</td> <td>国土交通省中部地方整備局 建政部 都市調整官</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>(2) 伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議</b></p> <p>本計画の策定に向けて、必要な事項を検討し、計画の策定及び計画による実施事業を一体的かつ円滑に推進することを目的に、平成26年9月1日に「伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議」を設置し、庁内の連絡調整、実施事業の調整、計画の進行管理、計画の変更など本計画及び計画による事業の推進に必要な調整を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部</th> <th>課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務部</td> <td>総務課</td> </tr> <tr> <td>企画振興部</td> <td>総合政策課 文化交流課</td> </tr> <tr> <td>財務部</td> <td>財政課</td> </tr> <tr> <td>産業振興部</td> <td>農林振興課 農村整備課 商工労働課 観光戦略課 中心市街地推進課</td> </tr> <tr> <td>建設部</td> <td>公共基盤推進課 建設1課</td> </tr> </tbody> </table>	役職	名前	所属	会長	菅原 洋一	三重大学大学院工学研究科建築学専攻 教授	副会長	浅野 聡	三重大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授	委員	八尾 光祐	上野西部地区住民自治協議会 会長	委員	滝井 利彰	伊賀市文化財保護審議会 委員	委員	北出 桶夫	伊賀市文化財保護審議会 委員	委員	辻 善典	三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課 課長	委員	栢屋 武	三重県国土整備部都市政策課 課長	委員	伊室 春利	伊賀市教育委員会事務局 教育次長	委員	北山 太加視	伊賀市建設部 部長	委員	尾登 誠	伊賀市産業振興部長	アドバイザー	藤井 利幸	国土交通省中部地方整備局 建政部 都市調整官	部	課	総務部	総務課	企画振興部	総合政策課 文化交流課	財務部	財政課	産業振興部	農林振興課 農村整備課 商工労働課 観光戦略課 中心市街地推進課	建設部	公共基盤推進課 建設1課
役職	名前	所属																																																																																																		
会長	菅原 洋一	三重大学大学院工学研究科建築学専攻 教授																																																																																																		
副会長	浅野 聡	三重大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授																																																																																																		
委員	八尾 光祐	上野西部地区住民自治協議会 会長																																																																																																		
委員	吉岡 輝一	阿保地区住民自治協議会 会長																																																																																																		
委員	風隼 宗昭	鳥ヶ原地区まちづくり協議会 副会長																																																																																																		
委員	滝井 利彰	伊賀市文化財保護審議会 委員																																																																																																		
委員	辻 善典	三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課 課長																																																																																																		
委員	栢屋 武	三重県国土整備部都市政策課 課長																																																																																																		
委員	児玉 泰清	伊賀市教育委員会事務局 教育次長																																																																																																		
委員	清水 仁敏	伊賀市建設部 部長																																																																																																		
委員	尾登 誠	伊賀市産業振興部長																																																																																																		
アドバイザー	菅原 賢	国土交通省中部地方整備局 建政部 都市調整官																																																																																																		
部	課																																																																																																			
総務部	総務課																																																																																																			
企画振興部	総合政策課 文化交流課																																																																																																			
財務部	財政課																																																																																																			
産業振興部	農林振興課 農村整備課 商工労働課 観光戦略課 中心市街地推進課																																																																																																			
建設部	公共基盤推進課 建設1課																																																																																																			
役職	名前	所属																																																																																																		
会長	菅原 洋一	三重大学大学院工学研究科建築学専攻 教授																																																																																																		
副会長	浅野 聡	三重大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授																																																																																																		
委員	八尾 光祐	上野西部地区住民自治協議会 会長																																																																																																		
委員	滝井 利彰	伊賀市文化財保護審議会 委員																																																																																																		
委員	北出 桶夫	伊賀市文化財保護審議会 委員																																																																																																		
委員	辻 善典	三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課 課長																																																																																																		
委員	栢屋 武	三重県国土整備部都市政策課 課長																																																																																																		
委員	伊室 春利	伊賀市教育委員会事務局 教育次長																																																																																																		
委員	北山 太加視	伊賀市建設部 部長																																																																																																		
委員	尾登 誠	伊賀市産業振興部長																																																																																																		
アドバイザー	藤井 利幸	国土交通省中部地方整備局 建政部 都市調整官																																																																																																		
部	課																																																																																																			
総務部	総務課																																																																																																			
企画振興部	総合政策課 文化交流課																																																																																																			
財務部	財政課																																																																																																			
産業振興部	農林振興課 農村整備課 商工労働課 観光戦略課 中心市街地推進課																																																																																																			
建設部	公共基盤推進課 建設1課																																																																																																			

■新旧対照表

新		旧																																																																																																				
(P5)	<table border="1"> <tr><td rowspan="6">建設部 建設部長（副議長）</td><td>公共基盤推進課</td></tr> <tr><td>建設1課</td></tr> <tr><td>建設2課</td></tr> <tr><td>都市計画課</td></tr> <tr><td>下水道課</td></tr> <tr><td>建築住宅課</td></tr> <tr><td>伊賀市消防本部</td><td>消防総務課</td></tr> <tr><td>水道部</td><td>水道総務課</td></tr> <tr><td>伊賀支所</td><td>伊賀支所振興課</td></tr> <tr><td>阿山支所</td><td>阿山支所振興課</td></tr> <tr><td>大山田支所</td><td>大山田支所振興課</td></tr> <tr><td>島ヶ原支所</td><td>島ヶ原支所振興課</td></tr> <tr><td>青山支所</td><td>青山支所振興課</td></tr> <tr><td>教育委員会事務局 教育次長（議長）</td><td>文化財課（事務局）</td></tr> </table>	建設部 建設部長（副議長）	公共基盤推進課	建設1課	建設2課	都市計画課	下水道課	建築住宅課	伊賀市消防本部	消防総務課	水道部	水道総務課	伊賀支所	伊賀支所振興課	阿山支所	阿山支所振興課	大山田支所	大山田支所振興課	島ヶ原支所	島ヶ原支所振興課	青山支所	青山支所振興課	教育委員会事務局 教育次長（議長）	文化財課（事務局）	(P5)	<table border="1"> <tr><td rowspan="4"></td><td>建設2課</td></tr> <tr><td>都市計画課</td></tr> <tr><td>下水道課</td></tr> <tr><td>建築住宅課</td></tr> <tr><td>伊賀市消防本部</td><td>消防総務課</td></tr> <tr><td>水道部</td><td>水道総務課</td></tr> <tr><td>伊賀支所</td><td>伊賀支所振興課</td></tr> <tr><td>阿山支所</td><td>阿山支所振興課</td></tr> <tr><td>大山田支所</td><td>大山田支所振興課</td></tr> <tr><td>島ヶ原支所</td><td>島ヶ原支所振興課</td></tr> <tr><td>青山支所</td><td>青山支所振興課</td></tr> <tr><td>教育委員会事務局 教育次長（議長）</td><td>文化財課（事務局）</td></tr> </table>		建設2課	都市計画課	下水道課	建築住宅課	伊賀市消防本部	消防総務課	水道部	水道総務課	伊賀支所	伊賀支所振興課	阿山支所	阿山支所振興課	大山田支所	大山田支所振興課	島ヶ原支所	島ヶ原支所振興課	青山支所	青山支所振興課	教育委員会事務局 教育次長（議長）	文化財課（事務局）																																																							
建設部 建設部長（副議長）	公共基盤推進課																																																																																																					
	建設1課																																																																																																					
	建設2課																																																																																																					
	都市計画課																																																																																																					
	下水道課																																																																																																					
	建築住宅課																																																																																																					
伊賀市消防本部	消防総務課																																																																																																					
水道部	水道総務課																																																																																																					
伊賀支所	伊賀支所振興課																																																																																																					
阿山支所	阿山支所振興課																																																																																																					
大山田支所	大山田支所振興課																																																																																																					
島ヶ原支所	島ヶ原支所振興課																																																																																																					
青山支所	青山支所振興課																																																																																																					
教育委員会事務局 教育次長（議長）	文化財課（事務局）																																																																																																					
	建設2課																																																																																																					
	都市計画課																																																																																																					
	下水道課																																																																																																					
	建築住宅課																																																																																																					
伊賀市消防本部	消防総務課																																																																																																					
水道部	水道総務課																																																																																																					
伊賀支所	伊賀支所振興課																																																																																																					
阿山支所	阿山支所振興課																																																																																																					
大山田支所	大山田支所振興課																																																																																																					
島ヶ原支所	島ヶ原支所振興課																																																																																																					
青山支所	青山支所振興課																																																																																																					
教育委員会事務局 教育次長（議長）	文化財課（事務局）																																																																																																					
<p><b>3. 計画策定・進行の経緯</b></p> <table border="0"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>10月</td> <td>歴史まちづくり計画策定取り組み開始</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月4日</td> <td>国土交通省中部地方整備局による歴史まちづくり説明会・現地視察</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月7日</td> <td>伊賀市文化財保護審議会で取り組み説明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月19日</td> <td>伊賀市議会議員全員協議会で取り組み説明</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>9月1日</td> <td>第1回伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月25日</td> <td>第1回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月3日</td> <td>第1回ワーキンググループ会議開催</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>4月16日</td> <td>第2回ワーキンググループ会議開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月19日</td> <td>第3回ワーキンググループ会議開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月22日</td> <td>第2回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月4日</td> <td>阿保・島ヶ原地区へ計画内容説明とヒアリング</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月18日</td> <td>第4回ワーキンググループ会議開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月28日</td> <td>第3回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月31日</td> <td>第5回ワーキンググループ会議開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月28日</td> <td>上野城下町地区役員と計画内容説明・協議</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11月18日</td> <td>伊賀市教育委員会定例会で議会全員協議会へ付議する中間案を報告</td> </tr> </table>		平成25年度	10月	歴史まちづくり計画策定取り組み開始		12月4日	国土交通省中部地方整備局による歴史まちづくり説明会・現地視察		2月7日	伊賀市文化財保護審議会で取り組み説明		2月19日	伊賀市議会議員全員協議会で取り組み説明	平成26年度	9月1日	第1回伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議開催		12月25日	第1回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催		3月3日	第1回ワーキンググループ会議開催	平成27年度	4月16日	第2回ワーキンググループ会議開催		5月19日	第3回ワーキンググループ会議開催		5月22日	第2回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催		6月4日	阿保・島ヶ原地区へ計画内容説明とヒアリング		8月18日	第4回ワーキンググループ会議開催		8月28日	第3回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催		8月31日	第5回ワーキンググループ会議開催		10月28日	上野城下町地区役員と計画内容説明・協議		11月18日	伊賀市教育委員会定例会で議会全員協議会へ付議する中間案を報告	<p><b>3. 計画策定の経緯</b></p> <table border="0"> <tr> <td>平成25年度</td> <td>10月</td> <td>歴史まちづくり計画策定取り組み開始</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月4日</td> <td>国土交通省中部地方整備局による歴史まちづくり説明会・現地視察</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月7日</td> <td>伊賀市文化財保護審議会で取り組み説明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2月19日</td> <td>伊賀市議会議員全員協議会で取り組み説明</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>9月1日</td> <td>第1回伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月25日</td> <td>第1回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月3日</td> <td>第1回ワーキンググループ会議開催</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>4月16日</td> <td>第2回ワーキンググループ会議開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月19日</td> <td>第3回ワーキンググループ会議開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月22日</td> <td>第2回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月4日</td> <td>阿保・島ヶ原地区へ計画内容説明とヒアリング</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月18日</td> <td>第4回ワーキンググループ会議開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月28日</td> <td>第3回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月31日</td> <td>第5回ワーキンググループ会議開催</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月28日</td> <td>上野城下町地区役員と計画内容説明・協議</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11月18日</td> <td>伊賀市教育委員会定例会で議会全員協議会へ付議する中間案を報告</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11月25日</td> <td>第2回伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議開催</td> </tr> </table>		平成25年度	10月	歴史まちづくり計画策定取り組み開始		12月4日	国土交通省中部地方整備局による歴史まちづくり説明会・現地視察		2月7日	伊賀市文化財保護審議会で取り組み説明		2月19日	伊賀市議会議員全員協議会で取り組み説明	平成26年度	9月1日	第1回伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議開催		12月25日	第1回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催		3月3日	第1回ワーキンググループ会議開催	平成27年度	4月16日	第2回ワーキンググループ会議開催		5月19日	第3回ワーキンググループ会議開催		5月22日	第2回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催		6月4日	阿保・島ヶ原地区へ計画内容説明とヒアリング		8月18日	第4回ワーキンググループ会議開催		8月28日	第3回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催		8月31日	第5回ワーキンググループ会議開催		10月28日	上野城下町地区役員と計画内容説明・協議		11月18日	伊賀市教育委員会定例会で議会全員協議会へ付議する中間案を報告		11月25日	第2回伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議開催
平成25年度	10月	歴史まちづくり計画策定取り組み開始																																																																																																				
	12月4日	国土交通省中部地方整備局による歴史まちづくり説明会・現地視察																																																																																																				
	2月7日	伊賀市文化財保護審議会で取り組み説明																																																																																																				
	2月19日	伊賀市議会議員全員協議会で取り組み説明																																																																																																				
平成26年度	9月1日	第1回伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議開催																																																																																																				
	12月25日	第1回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催																																																																																																				
	3月3日	第1回ワーキンググループ会議開催																																																																																																				
平成27年度	4月16日	第2回ワーキンググループ会議開催																																																																																																				
	5月19日	第3回ワーキンググループ会議開催																																																																																																				
	5月22日	第2回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催																																																																																																				
	6月4日	阿保・島ヶ原地区へ計画内容説明とヒアリング																																																																																																				
	8月18日	第4回ワーキンググループ会議開催																																																																																																				
	8月28日	第3回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催																																																																																																				
	8月31日	第5回ワーキンググループ会議開催																																																																																																				
	10月28日	上野城下町地区役員と計画内容説明・協議																																																																																																				
	11月18日	伊賀市教育委員会定例会で議会全員協議会へ付議する中間案を報告																																																																																																				
平成25年度	10月	歴史まちづくり計画策定取り組み開始																																																																																																				
	12月4日	国土交通省中部地方整備局による歴史まちづくり説明会・現地視察																																																																																																				
	2月7日	伊賀市文化財保護審議会で取り組み説明																																																																																																				
	2月19日	伊賀市議会議員全員協議会で取り組み説明																																																																																																				
平成26年度	9月1日	第1回伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議開催																																																																																																				
	12月25日	第1回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催																																																																																																				
	3月3日	第1回ワーキンググループ会議開催																																																																																																				
平成27年度	4月16日	第2回ワーキンググループ会議開催																																																																																																				
	5月19日	第3回ワーキンググループ会議開催																																																																																																				
	5月22日	第2回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催																																																																																																				
	6月4日	阿保・島ヶ原地区へ計画内容説明とヒアリング																																																																																																				
	8月18日	第4回ワーキンググループ会議開催																																																																																																				
	8月28日	第3回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催																																																																																																				
	8月31日	第5回ワーキンググループ会議開催																																																																																																				
	10月28日	上野城下町地区役員と計画内容説明・協議																																																																																																				
	11月18日	伊賀市教育委員会定例会で議会全員協議会へ付議する中間案を報告																																																																																																				
	11月25日	第2回伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議開催																																																																																																				
- 5 -		- 5 -																																																																																																				

■新旧対照表

新		旧	
(P6)	<p>11月25日 第2回伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議開催</p> <p>12月7日 島ヶ原地区まちづくり協議会と計画内容説明・協議</p> <p>12月11日 中間案を市総合政策会議に付議</p> <p>12月22日 伊賀市議会議員全員協議会で中間案を報告</p> <p>12月24日 第4回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催</p> <p>1月4日 中間案を市政運営会議に付議</p> <p>1月12日 パブリックコメント実施（～2月12日）</p> <p>1月19日 阿保地区区長会と協議</p> <p>2月9日 阿保地区住民地区協議会と協議</p> <p>3月14日 素案を市総合政策会議に付議</p> <p>3月23日 第5回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催</p> <p>3月25日 伊賀市議会議員全員協議会で素案を報告</p> <p>3月31日 計画書の認定申請</p> <p>平成28年度</p> <p>5月19日 伊賀市歴史的風致維持向上計画 認定</p> <p>5月20日 伊賀市議会議員全員協議会で計画認定を報告</p> <p>9月7日 島ヶ原地区まちづくり協議会と計画内容説明・協議</p> <p>10月18日 第4回中部歴史まちづくりサミットに11番目の認定市として参加</p> <p>3月22日 第6回伊賀市歴史的風致維持向上協議会 開催</p>	(P6)	<p>12月7日 島ヶ原地区まちづくり協議会と計画内容説明・協議</p> <p>12月11日 中間案を市総合政策会議に付議</p> <p>12月22日 伊賀市議会議員全員協議会で中間案を報告</p> <p>12月24日 第4回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催</p> <p>1月4日 中間案を市政運営会議に付議</p> <p>1月12日 パブリックコメント実施（～2月12日）</p> <p>1月19日 阿保地区区長会と協議</p> <p>2月9日 阿保地区住民地区協議会と協議</p> <p>3月14日 素案を市総合政策会議に付議</p> <p>3月23日 第5回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催</p> <p>3月25日 伊賀市議会議員全員協議会で素案を報告</p> <p>3月31日 計画書の認定申請</p>
- 6 -		- 6 -	

■新旧対照表

新

旧

(P9)

②気候

気候は内陸型気候の特徴を示し、夏は高温で蒸し暑く冬は低温で底冷えが厳しい。過去5年間（平成23年（2011）～平成27年（2015））の統計によると、年平均気温は、14.6℃と県内の観測所ではいちばん低い。8月が最も平均気温が高くなり26.9℃、1月最も低く2.9℃である。また、日較差・年較差が大きく、日較差は特に4月が13.1℃で大きい。年較差は23.9℃である。これらの特徴から、晴天時の放射冷却で朝夕は肌寒くなり、放射霧と川からの蒸気霧とで、盆地内や山間の低地では濃霧が多く発生し、特に10月～11月に顕著に発生する。

降水量は、盆地で山越えの風下にあたるため、県内では比較的少なく、過去5年間（平成23年～平成27年）の平均年間降水量は1,533mmとなっている。月別で見ると、7月と9月に降水量が多く、12月が最も少ない。

しかし、琵琶湖を渡ってくる雪雲を含んだ北西季節風はその風向と局地地形が降雪に微妙に影響をし、特に北西季節風が琵琶湖上を越えて流入すると、鈴鹿山脈で強制上昇するため、南端支脈の油日岳や壺山の風上斜面に多量の降雪をもたらし、柘植地域は積雪日が多くなる。

図表 気象の概要

年次	平均気温	最高気温	最低気温	平均相対湿度	平均風速	年降水量	最大日降水量	最大1時間降水量	年間日照時間	霧日数	雪日数
	℃	℃	℃	%	m/s	mm	mm	mm	時間	日	日
H14	14.7	35.4	-4.9	69.0	2.6	1127.0	113.5	49.0	1849.5	29	21
H15	14.3	35.0	-5.7	72.0	2.6	1591.0	71.0	24.0	1535.7	31	35
H16	15.2	35.5	-5.5	69.0	2.6	1570.5	92.0	35.0	1931.2	40	26
H17	14.4	35.2	-4.1	68.0	2.7	973.0	54.0	40.5	1859.3	34	33
H18	14.5	36.6	-5.6	70.0	2.4	1422.0	57.0	19.5	1578.6	35	34
H19	14.9	36.7	-5.6	68.0	2.4	1157.5	79.0	22.0	1845.2	30	11
H20	14.6	36.4	-3.9	76.0	2.4	1394.5	74.0	59.5	1615.8	39	38
H21	14.7	35.6	-5.2	77.0	2.5	1313.5	83.5	28.5	1777.9	36	16
H22	15.0	36.4	-5.6	79.0	2.5	1588.5	73.5	22.0	1818.3	27	19
H23	14.6	36.7	-5.2	76.0	2.6	1656.0	104.0	25.5	1877.3	28	33
H24	14.4	36.1	-8.2	74.0	2.7	1609.5	148.5	51.0	1777.9	29	71
H25	14.8	37.5	-4.3	71.0	2.7	1481.0	165.0	36.0	2025.2	30	62
H26	14.5	37.0	-5.3	73.0	2.6	1345.0	160.0	54.0	1916.7	18	78
H27	15.1	37.2	-3.7	74.0	2.5	1575.5	77.5	54.5	1722.6	33	71
H27 月別状況											
1月	3.9	12.4	-3.4	75.0	3.4	109.5	35.0	9.5	102.4	0	23
2月	4.4	16.4	-3.7	71.0	3.2	38.0	17.0	3.0	107.8	0	19
3月	7.8	24.0	-2.9	71.0	2.9	149.5	39.0	8.5	153.3	6	11
4月	14.0	27.9	2.8	72.0	2.6	108.5	19.0	7.0	143.7	1	1
5月	19.5	32.5	7.0	64.0	2.5	78.5	36.5	18.0	234.4	3	0
6月	21.2	32.2	11.6	77.0	2.4	222.5	40.5	21.0	105.8	2	0
7月	25.6	35.4	18.4	81.0	2.3	298.0	64.0	54.5	149.8	2	0
8月	26.7	37.2	19.5	76.0	2.0	182.5	45.5	23.5	163.7	0	0
9月	21.4	29.9	13.3	78.0	2.3	190.5	77.5	20.0	129.4	2	0
10月	16.0	26.5	4.0	70.0	2.2	29.5	25.0	16.5	206.8	5	0
11月	12.6	23.2	2.0	86.0	2.0	120.5	30.0	11.5	96.8	10	1
12月	7.5	20.0	-2.9	74.0	2.4	48.0	12.5	3.5	128.7	2	6

出典：津地方気象台

(P9)

②気候

気候は内陸型気候の特徴を示し、夏は高温で蒸し暑く冬は低温で底冷えが厳しい。過去5年間（平成22年（2010）～平成26年（2014））の統計によると、年平均気温は、14.6℃と県内の観測所ではいちばん低い。8月が最も平均気温が高くなり27.2℃、1月最も低く2.8℃である。また、日較差・年較差が大きく、日較差は特に4月が13.0℃で大きい。年較差は24.3℃である。これらの特徴から、晴天時の放射冷却で朝夕は肌寒くなり、放射霧と川からの蒸気霧とで、盆地内や山間の低地では濃霧が多く発生し、特に10月～11月に顕著に発生する。

降水量は、盆地で山越えの風下にあたるため、県内では比較的少なく、過去5年間（平成22年～平成26年）の平均年間降水量は1,536mmとなっている。月別で見ると、6月と9月に降水量が多く、1月が最も少ない。

しかし、琵琶湖を渡ってくる雪雲を含んだ北西季節風はその風向と局地地形が降雪に微妙に影響をし、特に北西季節風が琵琶湖上を越えて流入すると、鈴鹿山脈で強制上昇するため、南端支脈の油日岳や壺山の風上斜面に多量の降雪をもたらし、柘植地域は積雪日が多くなる。

図表 気象の概要

年次	平均気温	最高気温	最低気温	平均相対湿度	平均風速	年降水量	最大日降水量	最大1時間降水量	年間日照時間	霧日数	雪日数
	℃	℃	℃	%	m/s	mm	mm	mm	時間	日	日
H13	14.4	36.9	-4.8	71.0	2.6	1266.5	116.5	43.0	1899.7	35	30
H14	14.7	36.4	-4.9	69.0	2.6	1127.0	113.5	49.0	1849.5	29	21
H15	14.3	35.0	-5.7	72.0	2.6	1591.0	71.0	24.0	1535.7	31	35
H16	15.2	35.5	-5.5	69.0	2.6	1570.5	92.0	35.0	1931.2	40	26
H17	14.4	35.2	-4.1	68.0	2.7	973.0	54.0	40.5	1859.3	34	33
H18	14.5	36.6	-5.6	70.0	2.4	1422.0	57.0	19.5	1578.6	35	34
H19	14.9	36.7	-5.6	68.0	2.4	1157.5	79.0	22.0	1845.2	30	11
H20	14.6	36.4	-3.9	76.0	2.4	1394.5	74.0	59.5	1615.8	39	38
H21	14.7	35.6	-5.2	77.0	2.5	1313.5	83.5	28.5	1777.9	36	16
H22	15.0	36.4	-5.6	79.0	2.5	1588.5	73.5	22.0	1818.3	27	19
H23	14.6	36.7	-5.2	76.0	2.6	1656.0	104.0	25.5	1877.3	28	33
H24	14.4	36.1	-8.2	74.0	2.7	1609.5	148.5	51.0	1777.9	29	71
H25	14.8	37.5	-4.3	71.0	2.7	1481.0	165.0	36.0	2025.2	30	62
H26	14.5	37.0	-5.3	73.0	2.6	1345.0	160.0	54.0	1916.7	18	78
H26 月別状況											
1月	3.1	15.0	-5.3	72.0	2.7	51.0	31.0	5.0	148.1	0	21
2月	3.6	16.3	-4.1	71.0	3.1	58.5	26.0	3.5	117.5	2	19
3月	7.6	21.8	-3.8	70.0	3.0	127.0	33.0	12.5	169.7	2	12
4月	12.5	25.8	0.1	64.0	2.6	81.5	46.5	7.0	204.7	0	2
5月	18.0	32.1	4.8	66.0	2.8	74.0	19.0	9.0	243.5	1	0
6月	22.3	34.3	15.5	74.0	2.4	81.0	27.5	27.5	144.4	2	0
7月	26.2	37.0	18.7	76.0	2.2	131.0	34.0	25.5	185.0	0	0
8月	26.0	36.5	18.5	82.0	2.1	357.0	160.0	54.0	116.4	2	0
9月	21.6	32.0	12.4	75.0	2.2	128.5	97.5	47.0	177.3	0	0
10月	17.0	30.0	4.2	78.0	2.5	117.5	48.0	11.0	134.2	4	0
11月	11.3	23.6	-0.4	76.0	2.2	83.0	22.0	13.5	150.6	4	0
12月	4.4	15.2	-4.5	70.0	3.6	55.0	16.0	7.0	125.3	1	17

資料：津地方気象台

■新旧対照表

新	旧
<p>(P10)</p> <p>表 月別平均気温と降水量 (H27)</p> <p>③地質</p> <p>上野盆地の中には、山地をつくる花崗岩類の基盤を覆って、明らかに昔の沼地や池、川などに堆積してできた地層が分布していることが分かる。これらの層は、湖に堆積した地層とともに一連の地層をつくって、上野盆地の北に位置する近江盆地内にも連続して分布している。これらの地層は、昔の琵琶湖とその周辺の平野に堆積した地層という意味で、古琵琶湖層群と呼ばれている。</p> <p>古琵琶湖層群は、現在では下位から、上野累層、伊賀累層、阿山累層、甲賀累層、蒲生累層、草津累層、膳所累層、堅田累層、高島累層の9つの累層に区分されていて、その堆積の場は、最初は上野盆地周辺にあり、次第に北に移動して現在の琵琶湖の位置にたどり着いたと考えられている。</p> <p>古琵琶湖層群は、粘土・砂・礫などの地層からなっている。丘陵に分布している地層や琵琶湖周辺でのボーリングデータによる地下の地層の積み重なりをもとに、古琵琶湖層群の厚さを計算すると、全体で1,500mを超える。下部の地層は琵琶湖周辺に分布せず、上部の地層は琵琶湖周辺にしか分布しないというように、どこでも古琵琶湖層群全体の地層が下から上まで一様に見られるわけではない。</p> <p>- 10 -</p>	<p>(P10)</p> <p>表 月別平均気温と降水量 (H26)</p> <p>③地質</p> <p>上野盆地の中には、山地をつくる花崗岩類の基盤を覆って、明らかに昔の沼地や池、川などに堆積してできた地層が分布していることが分かる。これらの層は、湖に堆積した地層とともに一連の地層をつくって、上野盆地の北に位置する近江盆地内にも連続して分布している。これらの地層は、昔の琵琶湖とその周辺の平野に堆積した地層という意味で、古琵琶湖層群と呼ばれている。</p> <p>古琵琶湖層群は、現在では下位から、上野累層、伊賀累層、阿山累層、甲賀累層、蒲生累層、草津累層、膳所累層、堅田累層、高島累層の9つの累層に区分されていて、その堆積の場は、最初は上野盆地周辺にあり、次第に北に移動して現在の琵琶湖の位置にたどり着いたと考えられている。</p> <p>古琵琶湖層群は、粘土・砂・礫などの地層からなっている。丘陵に分布している地層や琵琶湖周辺でのボーリングデータによる地下の地層の積み重なりをもとに、古琵琶湖層群の厚さを計算すると、全体で1,500mを超える。下部の地層は琵琶湖周辺に分布せず、上部の地層は琵琶湖周辺にしか分布しないというように、どこでも古琵琶湖層群全体の地層が下から上まで一様に見られるわけではない。</p> <p>- 10 -</p>

■新旧対照表

新		旧																																																																																																																							
(P13)		(P13)																																																																																																																							
<p>表 市町村合併の経緯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>明治の町村施行から昭和20年までの合併</th> <th>昭和の大合併</th> <th>現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上野町</td> <td rowspan="10">上野市(1950)</td> <td rowspan="10">上野市</td> </tr> <tr> <td>小田村</td> </tr> <tr> <td>城南村</td> </tr> <tr> <td>長田村</td> </tr> <tr> <td>花之木村</td> </tr> <tr> <td>新居村</td> </tr> <tr> <td>三田村</td> </tr> <tr> <td>府中村</td> </tr> <tr> <td>中瀬村</td> </tr> <tr> <td>反生村</td> </tr> <tr> <td>花垣村</td> <td rowspan="10">上野市(1950~57)</td> <td rowspan="10">上野市</td> </tr> <tr> <td>古山村 (一部は名張市へ)</td> </tr> <tr> <td>猪田村</td> </tr> <tr> <td>依那古村</td> </tr> <tr> <td>比目岐村</td> </tr> <tr> <td>神戸村</td> </tr> <tr> <td>丸柱村</td> </tr> <tr> <td>河合村</td> </tr> <tr> <td>玉瀧村</td> </tr> <tr> <td>鞆田村 (一部は柘植町へ)</td> </tr> <tr> <td>阿拝村</td> <td rowspan="2">阿山村 (1955~1967は阿山村)</td> <td rowspan="2">阿山村</td> </tr> <tr> <td>阿山村</td> </tr> <tr> <td>丸柱村</td> <td rowspan="2">伊賀町(1959)</td> <td rowspan="2">伊賀市</td> </tr> <tr> <td>春日村</td> </tr> <tr> <td>玉瀧村</td> <td rowspan="2">大山田村(1955)</td> <td rowspan="2">大山田村</td> </tr> <tr> <td>鞆田村 (一部は柘植町へ)</td> </tr> <tr> <td>王生野村</td> <td rowspan="2">柘植町</td> <td rowspan="2">柘植町</td> </tr> <tr> <td>西柘植村</td> </tr> <tr> <td>東柘植村</td> <td rowspan="2">大山田村(1955)</td> <td rowspan="2">大山田村</td> </tr> <tr> <td>山田村</td> </tr> <tr> <td>布引村</td> <td rowspan="2">青山町(1955)</td> <td rowspan="2">青山町</td> </tr> <tr> <td>阿波村</td> </tr> <tr> <td>阿保村</td> <td rowspan="2">阿保町</td> <td rowspan="2">阿保町</td> </tr> <tr> <td>上津村</td> </tr> <tr> <td>種生村</td> <td rowspan="2">島ヶ原村</td> <td rowspan="2">島ヶ原村</td> </tr> <tr> <td>矢持村</td> </tr> </tbody> </table>		明治の町村施行から昭和20年までの合併	昭和の大合併	現在	上野町	上野市(1950)	上野市	小田村	城南村	長田村	花之木村	新居村	三田村	府中村	中瀬村	反生村	花垣村	上野市(1950~57)	上野市	古山村 (一部は名張市へ)	猪田村	依那古村	比目岐村	神戸村	丸柱村	河合村	玉瀧村	鞆田村 (一部は柘植町へ)	阿拝村	阿山村 (1955~1967は阿山村)	阿山村	阿山村	丸柱村	伊賀町(1959)	伊賀市	春日村	玉瀧村	大山田村(1955)	大山田村	鞆田村 (一部は柘植町へ)	王生野村	柘植町	柘植町	西柘植村	東柘植村	大山田村(1955)	大山田村	山田村	布引村	青山町(1955)	青山町	阿波村	阿保村	阿保町	阿保町	上津村	種生村	島ヶ原村	島ヶ原村	矢持村	<p>表 市町村合併の経緯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>明治の町村施行から昭和20年までの合併</th> <th>昭和の大合併</th> <th>現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上野町</td> <td rowspan="10">上野市(1950)</td> <td rowspan="10">上野市</td> </tr> <tr> <td>小田村</td> </tr> <tr> <td>城南村</td> </tr> <tr> <td>長田村</td> </tr> <tr> <td>花之木村</td> </tr> <tr> <td>新居村</td> </tr> <tr> <td>三田村</td> </tr> <tr> <td>府中村</td> </tr> <tr> <td>中瀬村</td> </tr> <tr> <td>反生村</td> </tr> <tr> <td>花垣村</td> <td rowspan="10">上野市(1950~57)</td> <td rowspan="10">上野市</td> </tr> <tr> <td>古山村 (一部は名張市へ)</td> </tr> <tr> <td>猪田村</td> </tr> <tr> <td>依那古村</td> </tr> <tr> <td>比目岐村</td> </tr> <tr> <td>神戸村</td> </tr> <tr> <td>丸柱村</td> </tr> <tr> <td>河合村</td> </tr> <tr> <td>玉瀧村</td> </tr> <tr> <td>鞆田村 (一部は柘植町へ)</td> </tr> <tr> <td>阿拝村</td> <td rowspan="2">阿山村 (1955~1967は阿山村)</td> <td rowspan="2">阿山村</td> </tr> <tr> <td>阿山村</td> </tr> <tr> <td>丸柱村</td> <td rowspan="2">伊賀町(1959)</td> <td rowspan="2">伊賀市</td> </tr> <tr> <td>春日村</td> </tr> <tr> <td>玉瀧村</td> <td rowspan="2">大山田村(1955)</td> <td rowspan="2">大山田村</td> </tr> <tr> <td>鞆田村 (一部は柘植町へ)</td> </tr> <tr> <td>王生野村</td> <td rowspan="2">柘植町</td> <td rowspan="2">柘植町</td> </tr> <tr> <td>西柘植村</td> </tr> <tr> <td>東柘植村</td> <td rowspan="2">大山田村(1955)</td> <td rowspan="2">大山田村</td> </tr> <tr> <td>山田村</td> </tr> <tr> <td>布引村</td> <td rowspan="2">青山町(1955)</td> <td rowspan="2">青山町</td> </tr> <tr> <td>阿波村</td> </tr> <tr> <td>阿保村</td> <td rowspan="2">阿保町</td> <td rowspan="2">阿保町</td> </tr> <tr> <td>上津村</td> </tr> <tr> <td>種生村</td> <td rowspan="2">島ヶ原村</td> <td rowspan="2">島ヶ原村</td> </tr> <tr> <td>矢持村</td> </tr> </tbody> </table>		明治の町村施行から昭和20年までの合併	昭和の大合併	現在	上野町	上野市(1950)	上野市	小田村	城南村	長田村	花之木村	新居村	三田村	府中村	中瀬村	反生村	花垣村	上野市(1950~57)	上野市	古山村 (一部は名張市へ)	猪田村	依那古村	比目岐村	神戸村	丸柱村	河合村	玉瀧村	鞆田村 (一部は柘植町へ)	阿拝村	阿山村 (1955~1967は阿山村)	阿山村	阿山村	丸柱村	伊賀町(1959)	伊賀市	春日村	玉瀧村	大山田村(1955)	大山田村	鞆田村 (一部は柘植町へ)	王生野村	柘植町	柘植町	西柘植村	東柘植村	大山田村(1955)	大山田村	山田村	布引村	青山町(1955)	青山町	阿波村	阿保村	阿保町	阿保町	上津村	種生村	島ヶ原村	島ヶ原村	矢持村
明治の町村施行から昭和20年までの合併	昭和の大合併	現在																																																																																																																							
上野町	上野市(1950)	上野市																																																																																																																							
小田村																																																																																																																									
城南村																																																																																																																									
長田村																																																																																																																									
花之木村																																																																																																																									
新居村																																																																																																																									
三田村																																																																																																																									
府中村																																																																																																																									
中瀬村																																																																																																																									
反生村																																																																																																																									
花垣村	上野市(1950~57)	上野市																																																																																																																							
古山村 (一部は名張市へ)																																																																																																																									
猪田村																																																																																																																									
依那古村																																																																																																																									
比目岐村																																																																																																																									
神戸村																																																																																																																									
丸柱村																																																																																																																									
河合村																																																																																																																									
玉瀧村																																																																																																																									
鞆田村 (一部は柘植町へ)																																																																																																																									
阿拝村	阿山村 (1955~1967は阿山村)	阿山村																																																																																																																							
阿山村																																																																																																																									
丸柱村	伊賀町(1959)	伊賀市																																																																																																																							
春日村																																																																																																																									
玉瀧村	大山田村(1955)	大山田村																																																																																																																							
鞆田村 (一部は柘植町へ)																																																																																																																									
王生野村	柘植町	柘植町																																																																																																																							
西柘植村																																																																																																																									
東柘植村	大山田村(1955)	大山田村																																																																																																																							
山田村																																																																																																																									
布引村	青山町(1955)	青山町																																																																																																																							
阿波村																																																																																																																									
阿保村	阿保町	阿保町																																																																																																																							
上津村																																																																																																																									
種生村	島ヶ原村	島ヶ原村																																																																																																																							
矢持村																																																																																																																									
明治の町村施行から昭和20年までの合併	昭和の大合併	現在																																																																																																																							
上野町	上野市(1950)	上野市																																																																																																																							
小田村																																																																																																																									
城南村																																																																																																																									
長田村																																																																																																																									
花之木村																																																																																																																									
新居村																																																																																																																									
三田村																																																																																																																									
府中村																																																																																																																									
中瀬村																																																																																																																									
反生村																																																																																																																									
花垣村	上野市(1950~57)	上野市																																																																																																																							
古山村 (一部は名張市へ)																																																																																																																									
猪田村																																																																																																																									
依那古村																																																																																																																									
比目岐村																																																																																																																									
神戸村																																																																																																																									
丸柱村																																																																																																																									
河合村																																																																																																																									
玉瀧村																																																																																																																									
鞆田村 (一部は柘植町へ)																																																																																																																									
阿拝村	阿山村 (1955~1967は阿山村)	阿山村																																																																																																																							
阿山村																																																																																																																									
丸柱村	伊賀町(1959)	伊賀市																																																																																																																							
春日村																																																																																																																									
玉瀧村	大山田村(1955)	大山田村																																																																																																																							
鞆田村 (一部は柘植町へ)																																																																																																																									
王生野村	柘植町	柘植町																																																																																																																							
西柘植村																																																																																																																									
東柘植村	大山田村(1955)	大山田村																																																																																																																							
山田村																																																																																																																									
布引村	青山町(1955)	青山町																																																																																																																							
阿波村																																																																																																																									
阿保村	阿保町	阿保町																																																																																																																							
上津村																																																																																																																									
種生村	島ヶ原村	島ヶ原村																																																																																																																							
矢持村																																																																																																																									
<p>②人口動態</p> <p>平成 28 年 (2016) 12 月 31 日現在の伊賀市の人口は 93,896 人である。昭和 50 年 (1975) 頃までは人口は減少傾向にあったが、その後、企業の進出や住宅団地の開発などにより人口は緩やかな増加傾向に転じた。近年においては、住宅団地への人口流入が落ち着きを見せ始めたことなどにより、再び人口は減少傾向となっている。人口増減を地域別(旧市町村別)にみると、上野地域は増加、それ以外の地域では減少しており、特に島ヶ原地域、大山田地域で減少傾向が著しい。また、上野地域においては、中心部における減少、周辺部の増加による「ドーナツ化」の傾向がみられる。</p> <p>世帯数は、平成 28 年 12 月 31 日現在 39,845 世帯で、核家族化や住宅団地への流入等に伴い市全体としては増加傾向にあるが、阿山地域、大山田地域では平成 17 年 (2005) に減少に転じている。</p> <p>年齢階層別では、年少人口 (15 歳未満) と生産年齢人口 (15 歳~64 歳) の割合が減少する中、老年人口 (65 歳以上) の割合が増えてきている。地域別の高齢化状</p>		<p>②人口動態</p> <p>平成 27 年 (2015) 10 月 31 日現在の伊賀市の人口は 94,831 人である。昭和 50 年 (1975) 頃までは人口は減少傾向にあったが、その後、企業の進出や住宅団地の開発などにより人口は緩やかな増加傾向に転じた。近年においては、住宅団地への人口流入が落ち着きを見せ始めたことなどにより、再び人口は減少傾向となっている。人口増減を地域別(旧市町村別)にみると、上野地域は増加、それ以外の地域では減少しており、特に島ヶ原地域、大山田地域で減少傾向が著しい。また、上野地域においては、中心部における減少、周辺部の増加による「ドーナツ化」の傾向がみられる。</p> <p>世帯数は、平成 27 年 10 月 31 日現在 39,532 世帯で、核家族化や住宅団地への流入等に伴い市全体としては増加傾向にあるが、阿山地域、大山田地域では平成 17 年 (2005) に減少に転じている。</p> <p>年齢階層別では、年少人口 (15 歳未満) と生産年齢人口 (15 歳~64 歳) の割合が減少する中、老年人口 (65 歳以上) の割合が増えてきている。地域別の高齢化状</p>																																																																																																																							

■新旧対照表

新	旧																
<p>(P19)</p> <p>バス路線は12路線が運行されているが、このうち7路線が廃止代替バスによる自主運行路線であり、上野中心部から諏訪線、柘植線、友生線、予野線、月ヶ瀬線、島ヶ原線、西山線が運行されている。これら以外に、伊賀市一名古屋間、伊賀市一大阪間、伊賀市ー京都間、伊賀市ー横浜・品川間を結ぶ高速バスが運行されている。</p> <p>さらに、島ヶ原・阿山・伊賀・大山田・青山地区では、各支所等を拠点とした行政バスが運行されているほか、上野地区では中心市街地を中心にコミュニティバス、一部においては地域運行型行政バス方式の導入などの取り組みが行われている。</p> <p style="text-align: center;">図 市内公共交通網</p> <table border="1"> <tr> <td>営業路線バス (高速除く)</td> <td>上野名張線 阿波線 玉滝線 上野山添線</td> </tr> <tr> <td>廃止代替バス</td> <td>桐が丘線 友生線 予野線 島ヶ原線 諏訪線 月ヶ瀬線 西山線 柘植線</td> </tr> <tr> <td>行政バス</td> <td>上野コミュニティバス いがまち行政サービス巡回車 阿山行政サービス巡回車 しまがはら行政サービス巡回車 大山田行政サービス巡回車 青山行政バス</td> </tr> <tr> <td>地域運行バス</td> <td>比自岐コスモス号</td> </tr> </table>	営業路線バス (高速除く)	上野名張線 阿波線 玉滝線 上野山添線	廃止代替バス	桐が丘線 友生線 予野線 島ヶ原線 諏訪線 月ヶ瀬線 西山線 柘植線	行政バス	上野コミュニティバス いがまち行政サービス巡回車 阿山行政サービス巡回車 しまがはら行政サービス巡回車 大山田行政サービス巡回車 青山行政バス	地域運行バス	比自岐コスモス号	<p>(P19)</p> <p>バス路線は12路線が運行されているが、このうち7路線が廃止代替バスによる自主運行路線であり、上野中心部から諏訪線、柘植線、友生線、予野線、月ヶ瀬線、島ヶ原線、西山線が運行されている。これら以外に、伊賀市一名古屋間、伊賀市一大阪間、伊賀市ー横浜・品川間を結ぶ高速バスが運行されている。</p> <p>さらに、島ヶ原・阿山・伊賀・大山田・青山地区では、各支所等を拠点とした行政バスが運行されているほか、上野地区では中心市街地を中心にコミュニティバス、一部においては地域運行型行政バス方式の導入などの取り組みが行われている。</p> <p style="text-align: center;">図 市内公共交通網</p> <table border="1"> <tr> <td>営業路線バス (高速除く)</td> <td>上野名張線 阿波線 玉滝線 上野山添線 桐が丘線</td> </tr> <tr> <td>廃止代替バス</td> <td>友生線 予野線 島ヶ原線 諏訪線 月ヶ瀬線 西山線 柘植線</td> </tr> <tr> <td>行政バス</td> <td>上野コミュニティバス いがまち行政サービス巡回車 阿山行政サービス巡回車 しまがはら行政サービス巡回車 大山田行政サービス巡回車 青山行政バス</td> </tr> <tr> <td>地域運行バス</td> <td>比自岐コスモス号</td> </tr> </table>	営業路線バス (高速除く)	上野名張線 阿波線 玉滝線 上野山添線 桐が丘線	廃止代替バス	友生線 予野線 島ヶ原線 諏訪線 月ヶ瀬線 西山線 柘植線	行政バス	上野コミュニティバス いがまち行政サービス巡回車 阿山行政サービス巡回車 しまがはら行政サービス巡回車 大山田行政サービス巡回車 青山行政バス	地域運行バス	比自岐コスモス号
営業路線バス (高速除く)	上野名張線 阿波線 玉滝線 上野山添線																
廃止代替バス	桐が丘線 友生線 予野線 島ヶ原線 諏訪線 月ヶ瀬線 西山線 柘植線																
行政バス	上野コミュニティバス いがまち行政サービス巡回車 阿山行政サービス巡回車 しまがはら行政サービス巡回車 大山田行政サービス巡回車 青山行政バス																
地域運行バス	比自岐コスモス号																
営業路線バス (高速除く)	上野名張線 阿波線 玉滝線 上野山添線 桐が丘線																
廃止代替バス	友生線 予野線 島ヶ原線 諏訪線 月ヶ瀬線 西山線 柘植線																
行政バス	上野コミュニティバス いがまち行政サービス巡回車 阿山行政サービス巡回車 しまがはら行政サービス巡回車 大山田行政サービス巡回車 青山行政バス																
地域運行バス	比自岐コスモス号																

■新旧対照表

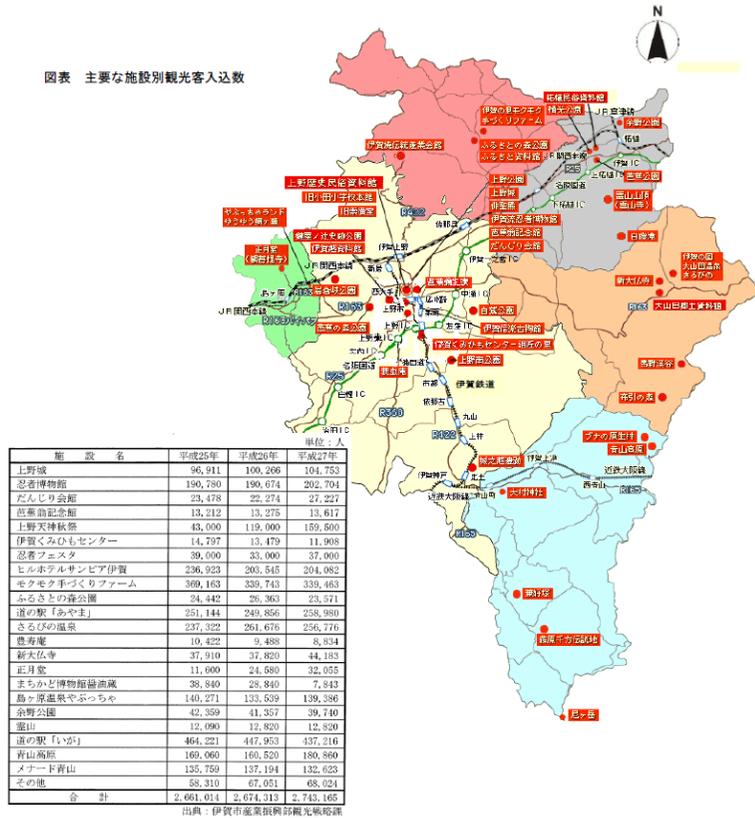
新

(P22)

4) 観光

観光は、伊賀市中心部の上野城、伊賀流忍者博物館、松尾芭蕉関連施設のほか、青山高原や余野公園などの自然資源、農林業などに係る様々な交流資源、温泉やリゾート施設など多くの地域資源があり、近年の観光入込客数の動向は微増傾向にある。しかし、名阪国道やJ R、近畿日本鉄道などの大阪・名古屋・京都等の大都市圏を結ぶ道路網、鉄道網の整備により、観光客の大部分は日帰り通過型となっている。

図表 主要な施設別観光客入込数



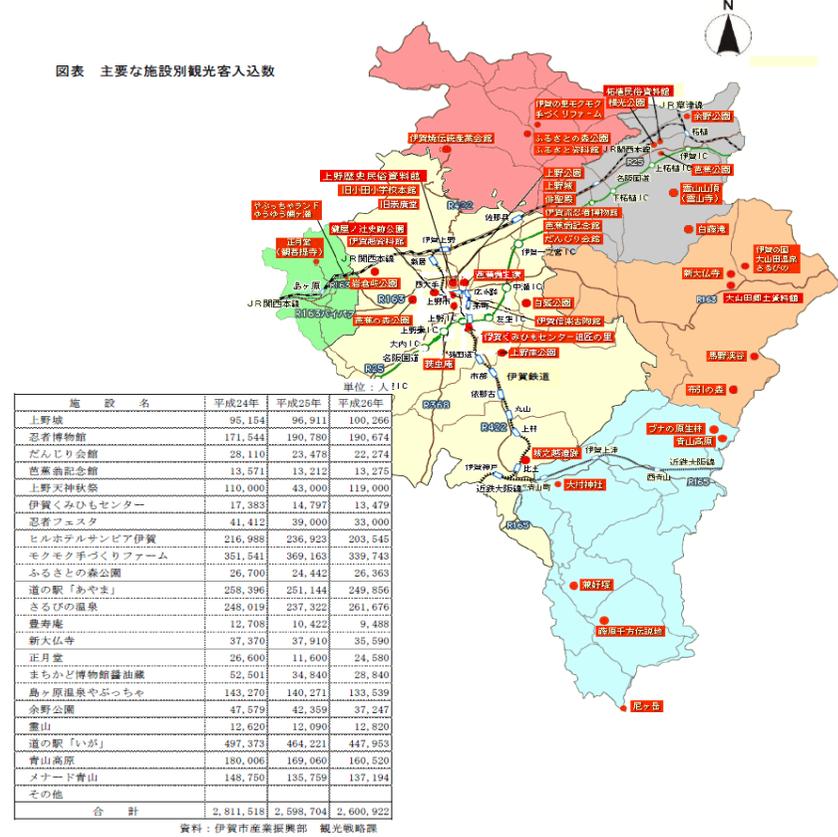
旧

(P22)

4) 観光

観光は、伊賀市中心部の上野城、伊賀流忍者博物館、松尾芭蕉関連施設のほか、青山高原や余野公園などの自然資源、農林業などに係る様々な交流資源、温泉やリゾート施設など多くの地域資源があり、近年の観光入込客数の動向は微増傾向にある。しかし、名阪国道やJ R、近畿日本鉄道などの大阪・名古屋・京都等の大都市圏を結ぶ道路網、鉄道網の整備により、観光客の大部分は日帰り通過型となっている。

図表 主要な施設別観光客入込数





■新旧対照表

新	旧
<p>(P43)</p> <p>で、更科紀行の推敲過程を明らかにする貴重なもの。縦20.1cm、全長2.28mを測り、もとは懐紙5枚に書き継がれたもので、料紙は薄美濃紙を用いている。本文は「さらしなの里、おはすて山の月見の事」云々以下82行が存在し、末に「はせを」の自著があるが、文中には訂正の跡が著しく、所掲の句も抹消加筆があり、草稿本であることがわかる。本文末には芭蕉の高弟尚白の筆による識語があり、本巻が芭蕉の真跡であることを記している。</p> <p><b>更科紀行芭蕉自筆稿本</b></p>  <p>更科紀行芭蕉自筆稿本</p> <p><b>上野天神祭のダンジリ行事（無形民俗）</b></p> <p>上野城下町の産土神として鎮座する上野天神宮の秋祭りとして行われ、毎年10月の23・24・25日に行われる。万治3年（1660）に再興を見たとの記録があり、それ以前から何らかの祭礼があったことを窺わせる。23日は宵山で、各町では印、楼車を引き出して飾り付けを行い、24日は足揃えの儀が行われ、楼車がそれぞれの町内を巡行し、鬼行列も上野相生町から三之町筋を練り歩く。25日は本祭りで2基の御輿の渡御に続いて鬼行列、9基の印と楼車が供奉し巡行する。この行事は、御輿の渡御を中心とする祭りに仮装の行列（練物）や作り物が加わり、現在のような鬼行列や印、楼車で賑わう形態を整えるようになったものである。印は神の依代と考えられるもので、それを囃す楼車と鬼行列と呼ばれる仮装行列が続く、類例の少ない貴重な行事である。平成28年（2016）にユネスコ無形文化遺産に登録された。</p>  <p>上野天神祭のダンジリ行事</p> <p><b>勝手神社（山畑）の神事踊（国選択・無形民俗）</b></p> <p>国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されている。江戸期中頃から盛んに行われた風流踊りに類するもので、雨乞系のかんこ踊りの中の最も代表的な踊りとされている。6人の踊子は、色とりどりの花を付けて垂らしたオチズイを背負い、胸に掲</p>  <p>勝手神社（山畑）の神事踊</p>	<p>(P43)</p> <p>で、更科紀行の推敲過程を明らかにする貴重なもの。縦20.1cm、全長2.28mを測り、もとは懐紙5枚に書き継がれたもので、料紙は薄美濃紙を用いている。本文は「さらしなの里、おはすて山の月見の事」云々以下82行が存在し、末に「はせを」の自著があるが、文中には訂正の跡が著しく、所掲の句も抹消加筆があり、草稿本であることがわかる。本文末には芭蕉の高弟尚白の筆による識語があり、本巻が芭蕉の真跡であることを記している。</p> <p><b>更科紀行芭蕉自筆稿本</b></p>  <p>更科紀行芭蕉自筆稿本</p> <p><b>上野天神祭のダンジリ行事（無形民俗）</b></p> <p>上野城下町の産土神として鎮座する上野天神宮の秋祭りとして行われ、毎年10月の23・24・25日に行われる。万治3年（1660）に再興を見たとの記録があり、それ以前から何らかの祭礼があったことを窺わせる。23日は宵山で、各町では印、楼車を引き出して飾り付けを行い、24日は足揃えの儀が行われ、楼車がそれぞれの町内を巡行し、鬼行列も上野相生町から三之町筋を練り歩く。25日は本祭りで2基の御輿の渡御に続いて鬼行列、9基の印と楼車が供奉し巡行する。この行事は、御輿の渡御を中心とする祭りに仮装の行列（練物）や作り物が加わり、現在のような鬼行列や印、楼車で賑わう形態を整えるようになったものである。印は神の依代と考えられるもので、それを囃す楼車と鬼行列と呼ばれる仮装行列が続く、類例の少ない貴重な行事である。</p>  <p>上野天神祭のダンジリ行事</p> <p><b>勝手神社（山畑）の神事踊（国選択・無形民俗）</b></p> <p>国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されている。江戸期中頃から盛んに行われた風流踊りに類するもので、雨乞系のかんこ踊りの中の最も代表的な踊りとされている。6人の踊子は、色とりどりの花を付けて垂らしたオチズイを背負い、胸に掲</p>  <p>勝手神社（山畑）の神事踊</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P70)</p> <p><b>3. 伊賀市の維持向上すべき歴史的風致</b></p> <p>以上の基本的な構造を踏まえ、本市における維持向上すべき歴史的風致として、以下に13項目を挙げる。1から4が近世以降における上野城下町を中心としたもの、5から13が近世以前の時代に発祥した各地域に分散する地域色豊かな歴史的風致である。</p> <p><b>(1) 上野天神祭にみる歴史的風致（上野城下町）</b></p> <p><b>概要</b></p> <p>上野天神祭（ユネスコ無形文化遺産登録・国指定重要無形民俗文化財「上野天神祭のダンジリ行事」。以下、「上野天神祭」という。）は、上野城下町の中心部東の上野東町にある上野天神宮（上野天満宮、菅原神社とも呼ばれる）の秋の例大祭（毎年10月23日～10月25日）に、2基の神輿渡御の神幸列に供奉する形で、東の御旅所を出発し西の御旅所を經由して市街地三筋町を練り歩き、上野天神宮へ還御する祭礼行列で、百数十体に及ぶ鬼面をかぶった練物（鬼行列と呼ぶ）と9基の<small>しるし</small>印と楼車（「だんじり」と呼ぶ）が城下町を巡行する伊賀市を代表する祭りである。</p> <p>『宗国史』（藤堂藩の初代藩主高虎から3代藩主高久までの公式記録集）によると、万治3年（1660）に「許伊上野菅原祭儀遊行城中」とあり、上野天神祭礼が上野城内の遊行を許可され、「扇の芝」と呼ばれる広場で藩主などのお目に掛かったことが想像される。9基の楼車は、当時は組み立て式であったが、城中に入るには大手門を潜らなければならなかったため、2階の屋根部分が下る構造となっており、現在でも福居町の楼車にその機構が残され、楼車蔵入りの際などに実際に使われている。</p> <p><b>上野天神宮</b></p> <p>上野天満宮とも菅原神社とも呼ばれている。上野天神宮は、「菅原道真」公ほかを祭神として、上野城下町の中心よりやや東の上野東町東端に位置し、長らく上野町民の産土神として信仰されている。</p> <p>上野天神宮は、現在の上野城跡にあったとされる上野山平楽寺の鎮守の神だったが、天正9年（1581）の織田信長による天正伊賀の</p> <div data-bbox="763 544 1066 735" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="824 743 1010 762">上野天神祭のダンジリ行事</p> <div data-bbox="728 1121 1048 1305" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="824 1318 954 1337">上野天神宮 正面</p>	<p>(P70)</p> <p><b>3. 伊賀市の維持向上すべき歴史的風致</b></p> <p>以上の基本的な構造を踏まえ、本市における維持向上すべき歴史的風致として、以下に13項目を挙げる。1から4が近世以降における上野城下町を中心としたもの、5から13が近世以前の時代に発祥した各地域に分散する地域色豊かな歴史的風致である。</p> <p><b>(1) 上野天神祭にみる歴史的風致（上野城下町）</b></p> <p><b>概要</b></p> <p>上野天神祭（国指定重要無形民俗文化財「上野天神祭のダンジリ行事」。以下、「上野天神祭」という。）は、上野城下町の中心部東の上野東町にある上野天神宮（上野天満宮、菅原神社とも呼ばれる）の秋の例大祭（毎年10月23日～10月25日）に、2基の神輿渡御の神幸列に供奉する形で、東の御旅所を出発し西の御旅所を經由して市街地三筋町を練り歩き、上野天神宮へ還御する祭礼行列で、百数十体に及ぶ鬼面をかぶった練物（鬼行列と呼ぶ）と9基の<small>しるし</small>印と楼車（「だんじり」と呼ぶ）が城下町を巡行する伊賀市を代表する祭りである。</p> <p>『宗国史』（藤堂藩の初代藩主高虎から3代藩主高久までの公式記録集）によると、万治3年（1660）に「許伊上野菅原祭儀遊行城中」とあり、上野天神祭礼が上野城内の遊行を許可され、「扇の芝」と呼ばれる広場で藩主などのお目に掛かったことが想像される。9基の楼車は、当時は組み立て式であったが、城中に入るには大手門を潜らなければならなかったため、2階の屋根部分が下る構造となっており、現在でも福居町の楼車にその機構が残され、楼車蔵入りの際などに実際に使われている。</p> <p><b>上野天神宮</b></p> <p>上野天満宮とも菅原神社とも呼ばれている。上野天神宮は、「菅原道真」公ほかを祭神として、上野城下町の中心よりやや東の上野東町東端に位置し、長らく上野町民の産土神として信仰されている。</p> <p>上野天神宮は、現在の上野城跡にあったとされる上野山平楽寺の鎮守の神だったが、天正9年（1581）の織田信長による天正伊賀の</p> <div data-bbox="1720 539 2011 730" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1780 738 1966 758">上野天神祭のダンジリ行事</p> <div data-bbox="1684 1121 2004 1305" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1780 1318 1910 1337">上野天神宮 正面</p>

■新旧対照表

新	旧														
<p>(P146)</p> <p><b>4. 伊賀市の各種計画との関連性</b></p> <p><b>(1) 第2次伊賀市総合計画</b></p> <p>本市では、「第2次伊賀市総合計画」において、本市の将来像を「ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市 ～勇気と覚悟が未来を創る～」としている。本市は、歴史と伝統に根ざした史跡・祭り・工芸品などの文化資産を今に伝えるまちであり、地域固有の文化・歴史を尊重し個性を伸ばすために、町並みや景観保全など環境や生活空間に着目した取り組みを推進している。</p> <p>■計画期間：平成26年度（2014）～10年間          ■計画の前提：人口2010年97,207人⇒2020年約89,000人（2030年約80,000人）</p> <table border="1"> <tr> <td>将来像と基本理念</td> <td>ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市 ～勇気と覚悟が未来を創る～                  ■「市民」が主体となり地域の個性が生きた自治の形成                  ■持続可能な共生地域の形成                  ■交流と連携による創造的な地域の形成</td> </tr> <tr> <td>3つの基本政策</td> <td>1. 「安全・安心」～市民の暮らしの「安全・安心」を確保します～                  2. 「活力」～自立・持続できる「活力」を創出していきます～                  →歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり                  3. 人・地域づくり～未来のまちづくりを担う「人・地域づくり」を進めます～                  →文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第1次・第2次再生計画</td> <td> <b>【市街地・景観】</b>                      歴史や文化で培われてきた城下町である中心市街地の魅力を再認識し、その魅力を市内外に発信する。                      自然風景や城下町の伝統・風格を活かした魅力ある景観形成をめざす。  <b>■主な事業</b>                      ①歴史的な街なみに調和した環境整備事業                      ②伊賀市景観計画に定める景観形成基準との建築行為等の適合審査                      ③景観形成対象物の補修・保全行為等の助成                      ④重点風景地区内での建築等に対する助成                 </td> </tr> <tr> <td> <b>【歴史・文化財】</b>                      伊賀は、いにしえより東西文化の結節点であり、独自の歴史と文化を形成してきた。こうした本市の歴史や文化財について、市民共通の財産として大切に保存し将来へ引き継いでいくとともに、地域の魅力として再発見し、郷土を愛する心を醸成する。  <b>■主な事業</b>                      ①歴史的風致維持向上計画の<b>進行管理</b>の取り組み、歴史的な町並み等の保存整備                      ②文化財調査・保存整備事業                      ③『伊賀市史』編さん事業                      ④史跡等環境整備事業                 </td> </tr> </table>	将来像と基本理念	ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市 ～勇気と覚悟が未来を創る～ ■「市民」が主体となり地域の個性が生きた自治の形成 ■持続可能な共生地域の形成 ■交流と連携による創造的な地域の形成	3つの基本政策	1. 「安全・安心」～市民の暮らしの「安全・安心」を確保します～ 2. 「活力」～自立・持続できる「活力」を創出していきます～ →歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり 3. 人・地域づくり～未来のまちづくりを担う「人・地域づくり」を進めます～ →文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	第1次・第2次再生計画	<b>【市街地・景観】</b> 歴史や文化で培われてきた城下町である中心市街地の魅力を再認識し、その魅力を市内外に発信する。 自然風景や城下町の伝統・風格を活かした魅力ある景観形成をめざす。 <b>■主な事業</b> ①歴史的な街なみに調和した環境整備事業 ②伊賀市景観計画に定める景観形成基準との建築行為等の適合審査 ③景観形成対象物の補修・保全行為等の助成 ④重点風景地区内での建築等に対する助成	<b>【歴史・文化財】</b> 伊賀は、いにしえより東西文化の結節点であり、独自の歴史と文化を形成してきた。こうした本市の歴史や文化財について、市民共通の財産として大切に保存し将来へ引き継いでいくとともに、地域の魅力として再発見し、郷土を愛する心を醸成する。 <b>■主な事業</b> ①歴史的風致維持向上計画の <b>進行管理</b> の取り組み、歴史的な町並み等の保存整備 ②文化財調査・保存整備事業 ③『伊賀市史』編さん事業 ④史跡等環境整備事業	<p>(P146)</p> <p><b>4. 伊賀市の各種計画との関連性</b></p> <p><b>(1) 第2次伊賀市総合計画</b></p> <p>本市では、「第2次伊賀市総合計画」において、本市の将来像を「ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市 ～勇気と覚悟が未来を創る～」としている。本市は、歴史と伝統に根ざした史跡・祭り・工芸品などの文化資産を今に伝えるまちであり、地域固有の文化・歴史を尊重し個性を伸ばすために、町並みや景観保全など環境や生活空間に着目した取り組みを推進している。</p> <p>■計画期間：平成26年度（2014）～10年間          ■計画の前提：人口2010年97,207人⇒2020年約89,000人（2030年約80,000人）</p> <table border="1"> <tr> <td>将来像と基本理念</td> <td>ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市 ～勇気と覚悟が未来を創る～                  ■「市民」が主体となり地域の個性が生きた自治の形成                  ■持続可能な共生地域の形成                  ■交流と連携による創造的な地域の形成</td> </tr> <tr> <td>3つの基本政策</td> <td>1. 「安全・安心」～市民の暮らしの「安全・安心」を確保します～                  2. 「活力」～自立・持続できる「活力」を創出していきます～                  →歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり                  3. 人・地域づくり～未来のまちづくりを担う「人・地域づくり」を進めます～                  →文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第一次再生計画</td> <td> <b>【市街地・景観】</b>                      歴史や文化で培われてきた城下町である中心市街地の魅力を再認識し、その魅力を市内外に発信する。                      自然風景や城下町の伝統・風格を活かした魅力ある景観形成をめざす。  <b>■主な事業</b>                      ①歴史的な街なみに調和した環境整備事業                      ②伊賀市景観計画に定める景観形成基準との建築行為等の適合審査                      ③景観形成対象物の補修・保全行為等の助成                      ④重点風景地区内での建築等に対する助成                 </td> </tr> <tr> <td> <b>【歴史・文化財】</b>                      伊賀は、いにしえより東西文化の結節点であり、独自の歴史と文化を形成してきた。こうした本市の歴史や文化財について、市民共通の財産として大切に保存し将来へ引き継いでいくとともに、地域の魅力として再発見し、郷土を愛する心を醸成する。  <b>■主な事業</b>                      ①歴史的風致維持向上計画の策定、認可の取り組み、歴史的な町並み等の保存整備                      ②文化財調査・保存整備事業                      ③『伊賀市史』編さん事業                      ④史跡等環境整備事業                 </td> </tr> </table>	将来像と基本理念	ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市 ～勇気と覚悟が未来を創る～ ■「市民」が主体となり地域の個性が生きた自治の形成 ■持続可能な共生地域の形成 ■交流と連携による創造的な地域の形成	3つの基本政策	1. 「安全・安心」～市民の暮らしの「安全・安心」を確保します～ 2. 「活力」～自立・持続できる「活力」を創出していきます～ →歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり 3. 人・地域づくり～未来のまちづくりを担う「人・地域づくり」を進めます～ →文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	第一次再生計画	<b>【市街地・景観】</b> 歴史や文化で培われてきた城下町である中心市街地の魅力を再認識し、その魅力を市内外に発信する。 自然風景や城下町の伝統・風格を活かした魅力ある景観形成をめざす。 <b>■主な事業</b> ①歴史的な街なみに調和した環境整備事業 ②伊賀市景観計画に定める景観形成基準との建築行為等の適合審査 ③景観形成対象物の補修・保全行為等の助成 ④重点風景地区内での建築等に対する助成	<b>【歴史・文化財】</b> 伊賀は、いにしえより東西文化の結節点であり、独自の歴史と文化を形成してきた。こうした本市の歴史や文化財について、市民共通の財産として大切に保存し将来へ引き継いでいくとともに、地域の魅力として再発見し、郷土を愛する心を醸成する。 <b>■主な事業</b> ①歴史的風致維持向上計画の策定、認可の取り組み、歴史的な町並み等の保存整備 ②文化財調査・保存整備事業 ③『伊賀市史』編さん事業 ④史跡等環境整備事業
将来像と基本理念	ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市 ～勇気と覚悟が未来を創る～ ■「市民」が主体となり地域の個性が生きた自治の形成 ■持続可能な共生地域の形成 ■交流と連携による創造的な地域の形成														
3つの基本政策	1. 「安全・安心」～市民の暮らしの「安全・安心」を確保します～ 2. 「活力」～自立・持続できる「活力」を創出していきます～ →歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり 3. 人・地域づくり～未来のまちづくりを担う「人・地域づくり」を進めます～ →文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり														
第1次・第2次再生計画	<b>【市街地・景観】</b> 歴史や文化で培われてきた城下町である中心市街地の魅力を再認識し、その魅力を市内外に発信する。 自然風景や城下町の伝統・風格を活かした魅力ある景観形成をめざす。 <b>■主な事業</b> ①歴史的な街なみに調和した環境整備事業 ②伊賀市景観計画に定める景観形成基準との建築行為等の適合審査 ③景観形成対象物の補修・保全行為等の助成 ④重点風景地区内での建築等に対する助成														
	<b>【歴史・文化財】</b> 伊賀は、いにしえより東西文化の結節点であり、独自の歴史と文化を形成してきた。こうした本市の歴史や文化財について、市民共通の財産として大切に保存し将来へ引き継いでいくとともに、地域の魅力として再発見し、郷土を愛する心を醸成する。 <b>■主な事業</b> ①歴史的風致維持向上計画の <b>進行管理</b> の取り組み、歴史的な町並み等の保存整備 ②文化財調査・保存整備事業 ③『伊賀市史』編さん事業 ④史跡等環境整備事業														
将来像と基本理念	ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市 ～勇気と覚悟が未来を創る～ ■「市民」が主体となり地域の個性が生きた自治の形成 ■持続可能な共生地域の形成 ■交流と連携による創造的な地域の形成														
3つの基本政策	1. 「安全・安心」～市民の暮らしの「安全・安心」を確保します～ 2. 「活力」～自立・持続できる「活力」を創出していきます～ →歴史文化や風土と調和した、秩序のあるまちづくり 3. 人・地域づくり～未来のまちづくりを担う「人・地域づくり」を進めます～ →文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり														
第一次再生計画	<b>【市街地・景観】</b> 歴史や文化で培われてきた城下町である中心市街地の魅力を再認識し、その魅力を市内外に発信する。 自然風景や城下町の伝統・風格を活かした魅力ある景観形成をめざす。 <b>■主な事業</b> ①歴史的な街なみに調和した環境整備事業 ②伊賀市景観計画に定める景観形成基準との建築行為等の適合審査 ③景観形成対象物の補修・保全行為等の助成 ④重点風景地区内での建築等に対する助成														
	<b>【歴史・文化財】</b> 伊賀は、いにしえより東西文化の結節点であり、独自の歴史と文化を形成してきた。こうした本市の歴史や文化財について、市民共通の財産として大切に保存し将来へ引き継いでいくとともに、地域の魅力として再発見し、郷土を愛する心を醸成する。 <b>■主な事業</b> ①歴史的風致維持向上計画の策定、認可の取り組み、歴史的な町並み等の保存整備 ②文化財調査・保存整備事業 ③『伊賀市史』編さん事業 ④史跡等環境整備事業														

■新旧対照表

新	旧
<p>(P159)</p> <p><b>6. 計画推進体制</b></p> <p>本計画の推進体制については、まちづくり部局である建設部・産業振興部と、文化財保護部局である教育委員会を計画推進の事務局とし、庁内の関係各課で組織される「伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議」を新たに立ち上げ、計画推進のための庁内の連絡・調整の組織として位置づけた。また、国・県との関係機関との必要な協議を行い、相談や適切な支援を得る。</p> <p>歴史まちづくり法第 11 条に基づき設置する「伊賀市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。また、必要に応じて文化財・都市計画・景観等に関連する審議会、中心市街地活性化協議会、各地域のまちづくり協議会等と協議を行い、指導・助言を得るとともに、文化財の所有者・管理者や文化財等の保存・活用を行う市民や関係団体との連絡・調整及び支援を行いながら計画の推進を図る。</p> <p><b>【計画の推進体制】</b></p>	<p>(P159)</p> <p><b>6. 計画推進体制</b></p> <p>本計画の推進体制については、まちづくり部局である建設部・産業振興部と、文化財保護部局である教育委員会を計画推進の事務局とし、庁内の関係各課で組織される「(仮称)伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議」を新たに立ち上げ、計画推進のための庁内の連絡・調整の組織として位置づける。また、国・県との関係機関との必要な協議を行い、相談や適切な支援を得る。</p> <p>歴史まちづくり法第 11 条に基づき設置する「伊賀市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。また、必要に応じて文化財・都市計画・景観等に関連する審議会、中心市街地活性化協議会、各地域のまちづくり協議会等と協議を行い、指導・助言を得るとともに、文化財の所有者・管理者や文化財等の保存・活用を行う市民や関係団体との連絡・調整及び支援を行いながら計画の推進を図る。</p> <p><b>【計画の推進体制】</b></p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P172)</p> <p><b>第5章 文化財の保存・活用に関する事項</b></p> <p>伊賀市には指定文化財等が487件ある(平成28年(2016)4月1日現在)。これらの文化財は市内全域に分布し、本市の歴史・文化・自然環境を伝える貴重な資料として、地域住民の心の拠り所や観光振興の重要な資源となっている。本市に残される文化財を確実に後世へ伝えていくためには、文化財それ自体の保存のみではなく、周辺環境も含めた保存管理を図る一方で、文化財に係る人的な活動、ソフト面での活動を活性化していく必要がある。</p> <p><b>1. 文化財の保存・活用の現状と今後の方針及び具体的な計画</b></p> <p>伊賀市では、国・県・市指定文化財については文化財保護法、三重県文化財保護条例、伊賀市文化財保護条例に基づき、所有者や管理者等に適切な保存や管理に関する指導や助言を行っている。今後も関係法令等に基づき、引き続き適切な保存や管理を行う。また、未指定文化財については、調査・研究を実施しその価値を適切に判断し、必要に応じて指定に向けた取り組みを図っていく。無形民俗文化財については、これまでも様々な補助や助成事業を活用し、用具の整備や保存継承に不可欠な記録映像を撮影し、無形民俗文化財の継承や記録保存に努めてきた。高齢化が加速化していく現代社会においては、無形民俗文化財の担い手となる次世代育成が急務とされ、当市においても後世に文化財を伝承していく活動を積極的に行っていく。</p> <p>国指定文化財は文化財保護法に基づき、所有者や管理者等に適切な保存や管理に関する指導や助言を行っており、<b>史跡旧崇広堂の保存修理</b>や<b>史跡上野城跡の保存整備</b>を行い、<b>史跡伊賀国庁跡</b>については保存管理計画を策定し、適切な保存・管理に努めてきた。また、<b>史跡上野城跡</b>については既に保存管理計画を策定済みであるが、<b>本史跡</b>については計画の見直しの必要性和新たな策定が課題となっている。一方、<b>史跡旧崇広堂</b>においても、<b>整備完了時点と異なる状況</b>が生まれていて、<b>日常の管理指針</b>を定めることが急務となっている。こういった課題は、<b>重点区域外に所在する名勝及び史跡城之越遺跡</b>にも共通の課題であり、現在の状況を踏まえた日常管理のあり方が重要となってきている。</p> <p>重点区域内で行われる祭礼などの無形民俗文化財については、<b>上野天神祭のダンジリ行事</b>については、平成9年度(1997)から12年度(2000)にかけて<b>国庫補助及び県費補助</b>を受け、<b>上野天神祭民俗調査団</b>による詳細調査が実施され、平成14年(2002)2月に<b>国重要無形民俗文化財</b>に指定された。さらに平成28年(2016)11月30日(日本時間12月1日)には「<b>山・鉾・屋台行事</b>」の1つとして<b>ユネスコ無形文化遺産</b>に登録された。また、<b>植木神社の祇園祭巡行</b>についても、<b>平田中町楼車の水引幕の修理</b>を実施するとともに、普及啓発用の小冊子を平成25年度(2013)に発行した。一方、市内各所に残る「<b>かんこ踊り</b>」に関して、<b>詳細調査及び総合調査報告書の刊行</b>を行うとともに、<b>映像記録の撮影と整理、イベント、普及用冊子の刊行</b>を実施した。今後は、無形民俗文化</p>	<p>(P172)</p> <p><b>第5章 文化財の保存・活用に関する事項</b></p> <p>伊賀市には指定文化財等が483件ある(平成27年(2015)5月1日現在)。これらの文化財は市内全域に分布し、本市の歴史・文化・自然環境を伝える貴重な資料として、地域住民の心の拠り所や観光振興の重要な資源となっている。本市に残される文化財を確実に後世へ伝えていくためには、文化財それ自体の保存のみではなく、周辺環境も含めた保存管理を図る一方で、文化財に係る人的な活動、ソフト面での活動を活性化していく必要がある。</p> <p><b>1. 文化財の保存・活用の現状と今後の方針及び具体的な計画</b></p> <p>伊賀市では、国・県・市指定文化財については文化財保護法、三重県文化財保護条例、伊賀市文化財保護条例に基づき、所有者や管理者等に適切な保存や管理に関する指導や助言を行っている。今後も関係法令等に基づき、引き続き適切な保存や管理を行う。また、未指定文化財については、調査・研究を実施しその価値を適切に判断し、必要に応じて指定に向けた取り組みを図っていく。無形民俗文化財については、これまでも様々な補助や助成事業を活用し、用具の整備や保存継承に不可欠な記録映像を撮影し、無形民俗文化財の継承や記録保存に努めてきた。高齢化が加速化していく現代社会においては、無形民俗文化財の担い手となる次世代育成が急務とされ、当市においても後世に文化財を伝承していく活動を積極的に行っていく。</p> <p>国指定文化財は文化財保護法に基づき、所有者や管理者等に適切な保存や管理に関する指導や助言を行っており、<b>史跡旧崇広堂の土塀等の保存修理</b>や<b>史跡上野城跡の保存整備</b>を行い、<b>史跡伊賀国庁跡</b>については保存管理計画を策定し、適切な保存・管理に努めてきた。また、<b>史跡上野城跡</b>については既に保存管理計画を策定済みであるが、<b>本史跡</b>については計画の見直しの必要性和新たな策定が課題となっている。一方、<b>史跡旧崇広堂</b>においても、<b>整備完了時点と異なる状況</b>が生まれていて、<b>日常の管理指針</b>を定めることが急務となっている。こういった課題は、<b>重点区域外に所在する史跡城之越遺跡</b>にも共通の課題であり、現在の状況を踏まえた日常管理のあり方が重要となってきている。</p> <p>重点区域内で行われる祭礼などの無形民俗文化財については、<b>上野天神祭のダンジリ行事</b>については、平成9年度(1997)から12年度(2000)にかけて<b>国庫補助及び県費補助</b>を受け、<b>上野天神祭民俗調査団</b>による詳細調査が実施され、平成14年(2002)2月に<b>国重要無形民俗文化財</b>に指定された。また、<b>植木神社の祇園祭巡行</b>についても、<b>平田中町楼車の水引幕の修理</b>を実施するとともに、普及啓発用の小冊子を平成25年度(2013)に発行した。一方、市内各所に残る「<b>かんこ踊り</b>」に関して、<b>詳細調査及び総合調査報告書の刊行</b>を行うとともに、<b>映像記録の撮影と整理、イベント、普及用冊子の刊行</b>を実施した。今後は、無形民俗文化財を次世代に継承していくための方策を継続して取り組んでいく。</p>

■新旧対照表

新		旧	
(P189)		(P189)	
事業番号	No. 8	事業番号	No. 8
事業名	まち巡り拠点施設整備事業（成瀬平馬屋敷門活用事業）	事業名	まち巡り拠点施設整備事業（成瀬平馬屋敷門活用事業）
事業主体	伊賀市	事業主体	伊賀市
事業期間	平成 24 年度～平成 29 年度	事業期間	平成 24 年度～平成 28 年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（平成 24 年度～平成 27 年度） 社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（平成 29 年度）	支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（平成 24 年度～平成 27 年度） 社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（平成 28 年度）
事業箇所	伊賀市上野丸之内（重点区域 上野城下町区域）	事業箇所	伊賀市上野丸之内（重点区域 上野城下町区域）
事業概要	成瀬平馬屋敷門（文久年間）及び当該敷地を活用し、まち巡り拠点の整備を行う。 	事業概要	成瀬平馬屋敷門（文久年間）及び当該敷地を活用し、まち巡り拠点の整備を行う。 
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	成瀬平馬屋敷門は文久年間に建立されたとされ、現存する数少ない武士の長屋門である。 文化財的価値も高い当該施設を整備することにより、町並みや景観の保全を図り、市民意識の向上と価値観の共有を図り、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。	事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	成瀬平馬屋敷門は文久年間に建立されたとされ、現存する数少ない武士の長屋門である。 文化財的価値も高い当該施設を整備することにより、町並みや景観の保全を図り、市民意識の向上と価値観の共有を図り、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

■新旧対照表

新	旧																																
<p>(P191)</p> <p style="text-align: center;">(3) 歴史的遺産の周辺環境に関する方針</p> <table border="1"> <tr> <td>事業番号</td> <td>No. 10</td> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>ポケットパーク整備事業</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>伊賀市</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成 28 年度～平成 32 年度</td> </tr> <tr> <td>支援事業名</td> <td>社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（平成 28 年度～平成 29 年度） 市単独事業（平成 30 年度～平成 32 年度）</td> </tr> <tr> <td>事業箇所</td> <td>伊賀市上野東町 他（重点区域 上野城下町区域）</td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td>重点区域内において歴史的町並みに配慮したポケットパーク・広場の整備を行う。 </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由</td> <td>ポケットパークを整備することにより、城下町の居住空間の改善を図り、観光・交流促進・情報発信等の事業との連携で回遊性を高め、文化財や歴史的町並み、景観に触れる機会を増やし、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</td> </tr> </table>	事業番号	No. 10	事業名	ポケットパーク整備事業	事業主体	伊賀市	事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度	支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（平成 28 年度～平成 29 年度） 市単独事業（平成 30 年度～平成 32 年度）	事業箇所	伊賀市上野東町 他（重点区域 上野城下町区域）	事業概要	重点区域内において歴史的町並みに配慮したポケットパーク・広場の整備を行う。 	事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	ポケットパークを整備することにより、城下町の居住空間の改善を図り、観光・交流促進・情報発信等の事業との連携で回遊性を高め、文化財や歴史的町並み、景観に触れる機会を増やし、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。	<p>(P191)</p> <p style="text-align: center;">(3) 歴史的遺産の周辺環境に関する方針</p> <table border="1"> <tr> <td>事業番号</td> <td>No. 10</td> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>ポケットパーク整備事業</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>伊賀市</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成 28 年度～平成 32 年度</td> </tr> <tr> <td>支援事業名</td> <td>社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（平成 28 年度） 市単独事業（平成 29 年度～平成 32 年度）</td> </tr> <tr> <td>事業箇所</td> <td>伊賀市上野東町 他（重点区域 上野城下町区域）</td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td>重点区域内において歴史的町並みに配慮したポケットパーク・広場の整備を行う。 </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由</td> <td>ポケットパークを整備することにより、城下町の居住空間の改善を図り、観光・交流促進・情報発信等の事業との連携で回遊性を高め、文化財や歴史的町並み、景観に触れる機会を増やし、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</td> </tr> </table>	事業番号	No. 10	事業名	ポケットパーク整備事業	事業主体	伊賀市	事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度	支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（平成 28 年度） 市単独事業（平成 29 年度～平成 32 年度）	事業箇所	伊賀市上野東町 他（重点区域 上野城下町区域）	事業概要	重点区域内において歴史的町並みに配慮したポケットパーク・広場の整備を行う。 	事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	ポケットパークを整備することにより、城下町の居住空間の改善を図り、観光・交流促進・情報発信等の事業との連携で回遊性を高め、文化財や歴史的町並み、景観に触れる機会を増やし、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。
事業番号	No. 10																																
事業名	ポケットパーク整備事業																																
事業主体	伊賀市																																
事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度																																
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（平成 28 年度～平成 29 年度） 市単独事業（平成 30 年度～平成 32 年度）																																
事業箇所	伊賀市上野東町 他（重点区域 上野城下町区域）																																
事業概要	重点区域内において歴史的町並みに配慮したポケットパーク・広場の整備を行う。 																																
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	ポケットパークを整備することにより、城下町の居住空間の改善を図り、観光・交流促進・情報発信等の事業との連携で回遊性を高め、文化財や歴史的町並み、景観に触れる機会を増やし、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。																																
事業番号	No. 10																																
事業名	ポケットパーク整備事業																																
事業主体	伊賀市																																
事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度																																
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）（平成 28 年度） 市単独事業（平成 29 年度～平成 32 年度）																																
事業箇所	伊賀市上野東町 他（重点区域 上野城下町区域）																																
事業概要	重点区域内において歴史的町並みに配慮したポケットパーク・広場の整備を行う。 																																
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	ポケットパークを整備することにより、城下町の居住空間の改善を図り、観光・交流促進・情報発信等の事業との連携で回遊性を高め、文化財や歴史的町並み、景観に触れる機会を増やし、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。																																

■新旧対照表

新		旧				
(P202)		(P202)				
<p>形文化財について、同条例第 17 条第 1 項に基づく現状変更等の許可申請を行った場合及び同条例第 18 条第 1 項に基づく修理の届出を行った場合</p> <p>エ) 景観法第 19 条第 1 項の規定に基づく景観重要建造物で、同法第 22 条第 1 項の規定に基づく現状変更の許可の申請を行った場合</p>		<p>形文化財について、同条例第 17 条第 1 項に基づく現状変更等の許可申請を行った場合及び同条例第 18 条第 1 項に基づく修理の届出を行った場合</p> <p>エ) 景観法第 19 条第 1 項の規定に基づく景観重要建造物で、同法第 22 条第 1 項の規定に基づく現状変更の許可の申請を行った場合</p>				
<p><b>5. 指定された歴史的風致形成建造物</b></p> <p>当該重点区域において、歴史的風致形成建造物は、以下のとおりである。</p>		<p><b>5. 歴史的風致形成建造物の指定候補</b></p> <p>当該重点区域において、候補となる歴史的風致形成建造物は、以下のとおりである。</p>				
種別	名称	写真	年代	構造	所有者	備考
1	県指定 愛宕神社 本殿		江戸	木造	法人	
2	県指定 旧小田小学 校本館		明治	木造	伊賀市	
3	県指定 旧三重県第 三尋常中学 校校舎 附正門		明治	木造	三重県	
4	県指定 菅原神社 楼門・鐘楼		江戸	木造	法人	
5	県指定 入交家住宅 主屋・長屋 門・表屋・ 土蔵		江戸	木造	伊賀市	
6	県指定 廣禪寺輪藏		江戸	木造	法人	
7	市指定 藤堂藩旧武 庫		江戸	木造	三重県	
8	市指定 伊賀文化産 業城		昭和	木造	法人	
種別	名称	写真	年代	構造	所有者	備考
1	県指定 愛宕神社 本殿		江戸	木造	法人	
2	県指定 旧小田小学 校本館		明治	木造	伊賀市	
3	県指定 旧三重県第 三尋常中学 校校舎 附正門		明治	木造	三重県	
4	県指定 菅原神社 楼門・鐘楼		江戸	木造	法人	
5	県指定 入交家住宅 主屋・長屋 門・表屋・ 土蔵		江戸	木造	伊賀市	
6	県指定 廣禪寺輪藏		江戸	木造	法人	
7	市指定 藤堂藩旧武 庫		江戸	木造	三重県	
8	市指定 伊賀文化産 業城		昭和	木造	法人	

■新旧対照表

新							旧						
(P203)							(P203)						
9	市指定	西町集議所		江戸	木造	伊賀市	9	市指定	西町集議所		江戸	木造	伊賀市
10	市指定	藤堂家所縁御殿の御門		江戸	木造	伊賀市	10	市指定	藤堂家所縁御殿の御門		江戸	木造	伊賀市
11	国登録	北泉家住宅主屋（旧上野警察署庁舎）		明治	木造	個人	11	国登録	北泉家住宅主屋（旧上野警察署庁舎）		明治	木造	個人
12	国登録	寺村家住宅主屋・前蔵		江戸	木造	個人	12	国登録	寺村家住宅主屋・前蔵		江戸	木造	個人
13	国登録	上野文化センター		大正	木造	個人	13	国登録	上野文化センター		大正	木造	個人
14	国登録	赤井家住宅主屋・長屋門・土蔵・茶室・土塀		江戸～昭和	木造	伊賀市	14	国登録	赤井家住宅主屋・長屋門・土蔵・茶室・土塀		江戸～昭和	木造	伊賀市
15	国登録	開化寺観音堂・三重塔・門		江戸～大正	木造	法人	15	国登録	開化寺観音堂・三重塔・門		江戸～大正	木造	法人
16	国登録	栄楽館南棟・東棟・土蔵・門及び塀		明治	木造	伊賀市	16	国登録	栄楽館南棟・東棟・土蔵・門及び塀		明治	木造	伊賀市
17	国登録	いとう旅館本館		明治	木造	個人	17	国登録	いとう旅館本館		明治	木造	個人

■新旧対照表

新								旧							
(P204)								(P204)							
18	国登録	旅館薫楽荘 本館・蔵・ 門及び塀		明治	木造	個人		18	国登録	旅館薫楽荘 本館・蔵・ 門及び塀		明治	木造	個人	
19	国登録	一乃湯 本館・門		大正	木造	個人		19	国登録	一乃湯 本館・門		大正	木造	個人	
20	国登録	中森家住宅 主屋・離 れ・前蔵・ 蔵・門及び 土塀・井戸 屋形及び板 塀		江戸～昭和	木造	個人		20	国登録	中森家住宅 主屋・離 れ・前蔵・ 蔵・門及び 土塀・井戸 屋形及び板 塀		江戸～昭和	木造	個人	
21	未指定	成瀬平馬長 屋門		江戸	木造	伊賀市		21	未指定	成瀬平馬長 屋門		江戸	木造	伊賀市	
<p><b>6. 歴史的風致形成建造物の指定候補</b> 当該重点区域において、候補となる歴史的風致形成建造物は、以下のとおりである。</p>															
	種別	名称	写真	年代	構造	所有者	備考								
22	未指定	阿保西部の 常夜燈		江戸	石造	阿保地区		22	未指定	阿保西部の 常夜燈		江戸	石造	阿保地区	
23	未指定	阿保東部の 常夜燈		江戸	石造	阿保地区		23	未指定	阿保東部の 常夜燈		江戸	石造	阿保地区	
24	県指定 史跡及 名勝	養虫庵（養 虫庵・芭蕉 堂・茶室）		江戸	木造	伊賀市									

■新旧対照表

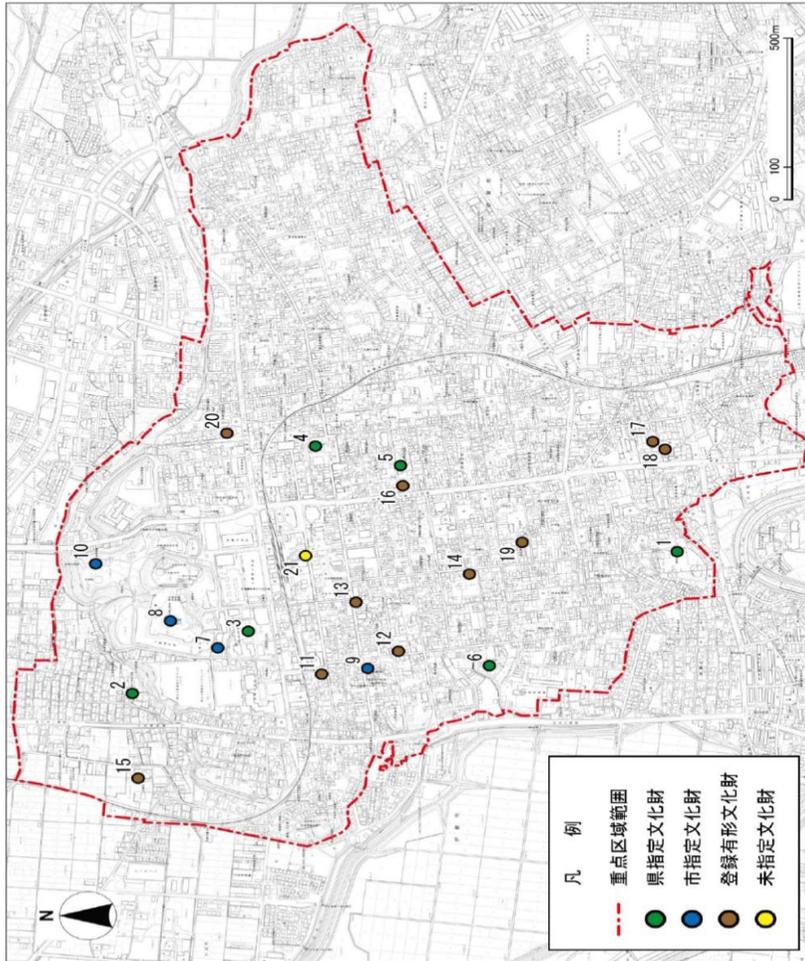
新								旧							
(P205)															
25	市指定 史跡	芭蕉翁生家 (生家・釣 月軒・土蔵)		江戸	木造	伊賀市									
26	国登録	福岡醤油店		明治	木造	個人									
追加															
- 205 -															

■新旧対照表

新

(P206)

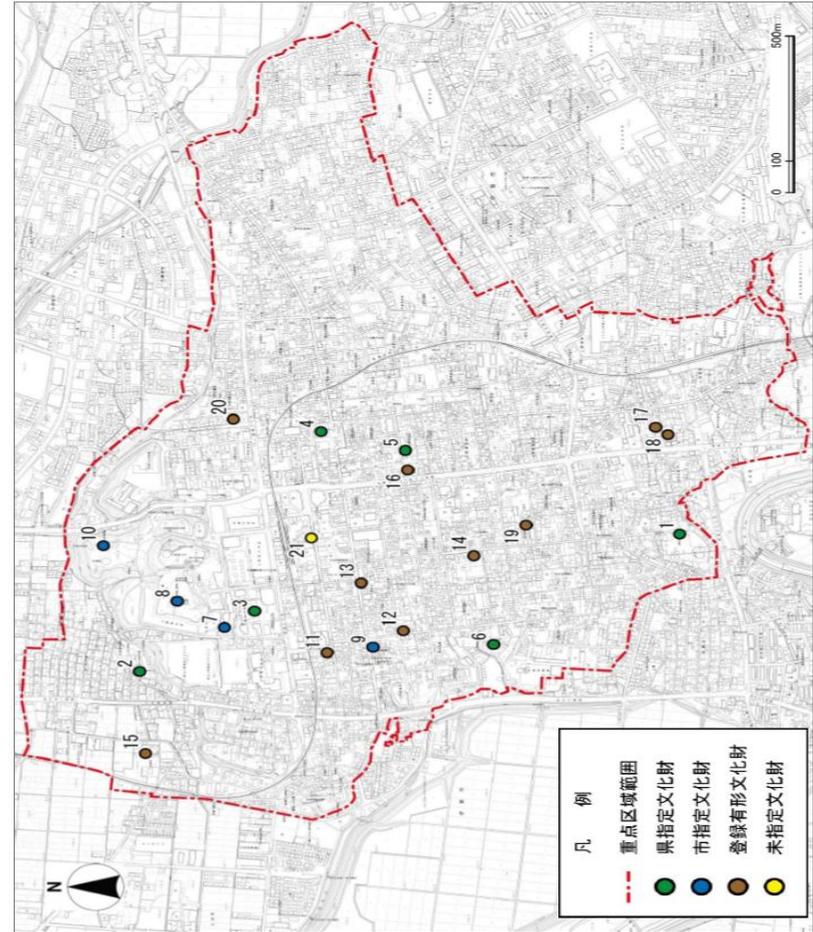
図 歴史的風致形成建造物 位置図 上野城下町地区



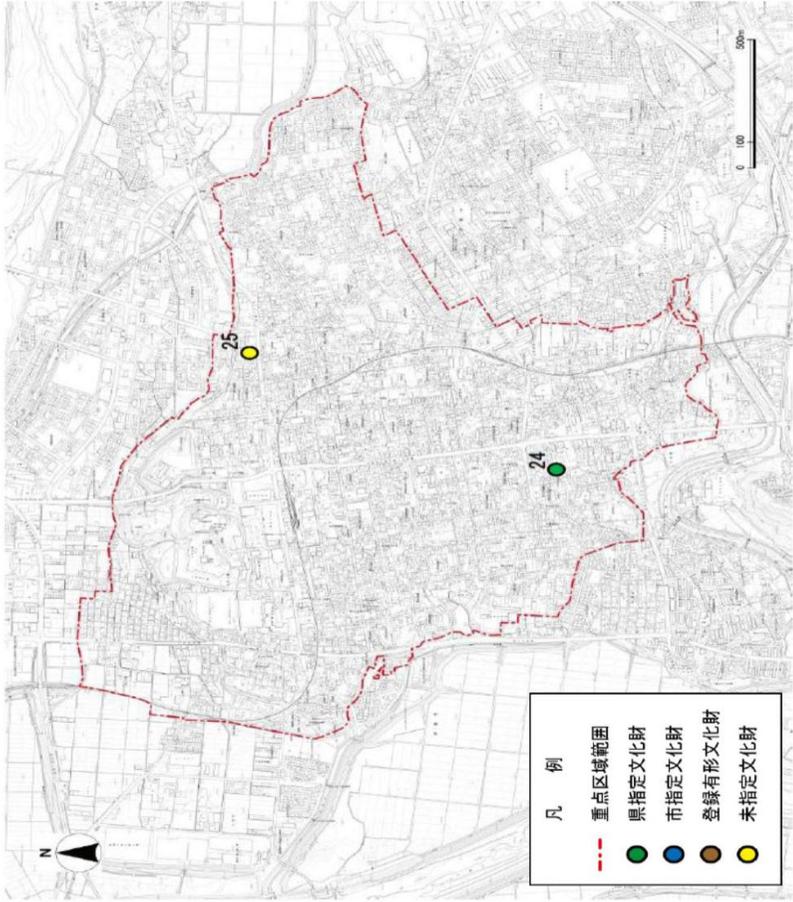
旧

(P205)

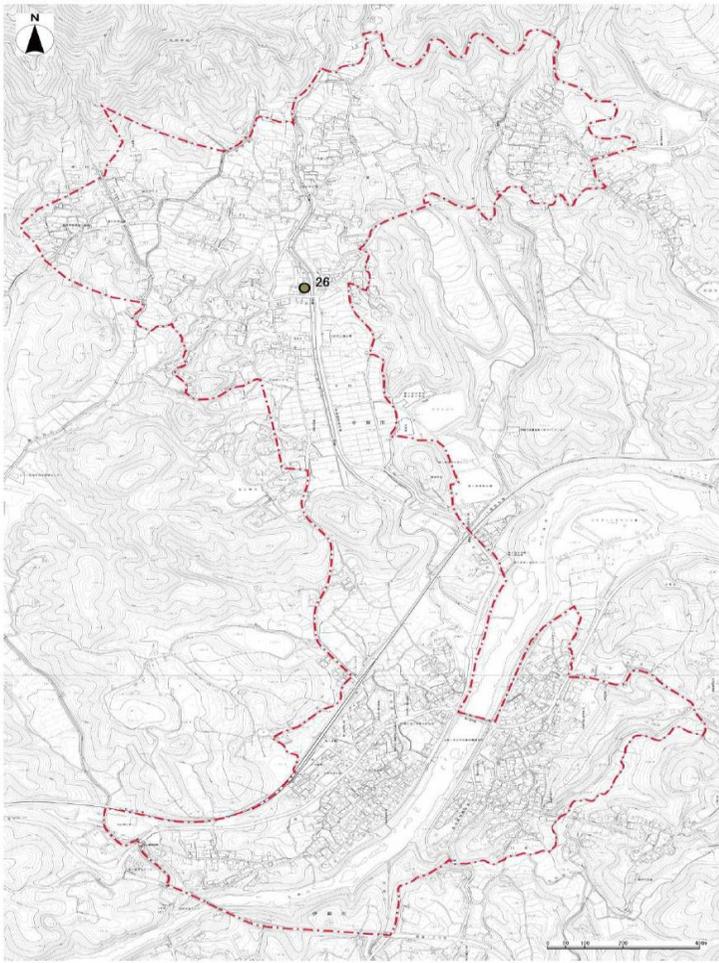
図 歴史的風致形成建造物の指定候補 位置図 上野城下町地区



■新旧対照表

新	旧
<p>(P208)</p> <p>図 歴史的風致形成建造物の指定候補 位置図 上野城下町地区</p>  <p style="text-align: center;">- 208 -</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">追加</p>

■新旧対照表

新	旧
<p>(P209)</p> <p>図 歴史的風致形成建造物の指定候補 位置図 島ヶ原地区</p>  <p>- 209 -</p>	<p>追加</p>